

JP2002-216000A

The above document discloses that a point counting service can integrate and use the points given to each card issued by a plurality of service providing side by inputting the card number of the card which wants to integrate the point from a terminal, and user ID and a password are given to use the said point counting service.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-216000

(P2002-216000A)

(43) 公開日 平成14年8月2日 (2002.8.2)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テ-マコ-ト* (参考)
G 0 6 F 17/60	3 2 4	G 0 6 F 17/60	3 2 4 3 E 0 4 2
G 0 7 G 1/12	3 2 1	G 0 7 G 1/12	3 2 1 M
			3 2 1 P
1/14		1/14	

審査請求 未請求 請求項の数10 O L (全 28 頁)

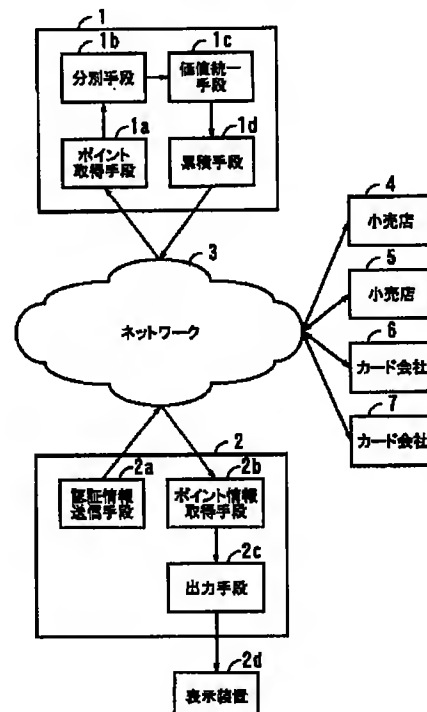
(21) 出願番号	特願2001-348510 (P2001-348510)	(71) 出願人	000005223 富士通株式会社 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号
(22) 出願日	平成13年11月14日 (2001.11.14)	(72) 発明者	大林 哲夫 東京都文京区本駒込二丁目28番8号 株式会社富士通システムソリューションズ内
(31) 優先権主張番号	特願2000-348546 (P2000-348546)	(74) 代理人	100092152 弁理士 服部 毅蔵
(32) 優先日	平成12年11月15日 (2000.11.15)		Fターム(参考) 3E042 CC02 CC04 CD04 CE07 EA01
(33) 優先権主張国	日本 (J P)		

(54) 【発明の名称】 情報処理方法及びポイント管理方法

(57) 【要約】

【課題】 複数の決済カードにより発生したポイントを統合して使用することを可能とする。

【解決手段】 小売店4、5においてカード会社6、7が提供する決済カードを使用して商品を購入した際に発生したポイントは、ポイント集計サーバ1のポイント取得手段1aにより取得される。分別手段1bは、ポイントを顧客毎に分別する。価値統一手段1cは、決済カード毎にポイントの価値が異なる場合には、価値の統一を図る。累積手段1dは、価値が統一されたポイントを顧客毎に分類して累積する。このようにして累積されたポイントに関する情報を参照する場合、顧客側クライアント2の認証情報送信手段2aは、ポイント集計サーバ1にログインするための認証情報を送信する。ポイント情報取得手段2bは、認証に成功した場合にポイント集計サーバ1から送信されてきたポイント情報を取得する。出力手段2cは、ポイント情報を表示装置2dに出力する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 商品またはサービスの売買によって発生するポイントに対する処理を行う情報処理方法において、

商品またはサービスの売買によって発生するポイント  
を、複数のポイントサービス提供者から取得するポイント  
取得ステップと、

前記ポイント取得ステップによって取得したポイントを  
顧客毎に分別する分別ステップと、

前記分別ステップによって分別されたポイントを顧客毎  
に累積する累積ステップと、  
を有することを特徴とする情報処理方法。

【請求項 2】 前記ポイントサービス提供者は決済カード会社であり、

前記ポイントは商品の購入時における決済カードの使用  
金額に応じて発生する、

ことを特徴とする請求項 1 記載の情報処理方法。

【請求項 3】 前記ポイントサービス提供者は小売店であり、

前記ポイントは商品の購入時における支払い金額に  
て発生する、

ことを特徴とする請求項 1 記載の情報処理方法。

【請求項 4】 前記ポイント取得ステップによって取得  
されたポイントの価値が、ポイントサービス提供者毎に  
異なる場合には、価値の統一を図る価値統一ステップを  
更に有することを特徴とする請求項 1 記載の情報処理  
方法。

【請求項 5】 前記ポイントと交換可能な商品の一覧を  
顧客側のクライアントに表示させるポイント交換商品表  
示ステップと、

前記クライアントにおいて、所定のポイント交換商品が  
指定された場合には、その商品とポイントとを交換する  
処理を行う交換処理ステップと、

を更に有することを特徴とする請求項 1 記載の情報処理  
方法。

【請求項 6】 前記交換処理ステップによって交換され  
るポイントを、前記顧客の指示に基づいたポイントサー  
ビス提供者のポイントとすることを特徴とする請求項 5  
記載の情報処理方法。

【請求項 7】 小売店において、前記ポイントを所有す  
る顧客からポイントによる商品購入要求がなされた場合  
には、ポイントによる商品購入処理を行う商品購入ステ  
ップを更に有することを特徴とする請求項 1 記載の情報  
処理方法。

【請求項 8】 顧客からポイントの移転要求がなされた  
場合には、2 以上の顧客間でポイントを移転するポイン  
ト移転ステップを更に有することを特徴とする請求項 1  
記載の情報処理方法。

【請求項 9】 新たなポイントが発生した場合には、そ  
の旨を電子メールにより顧客に通知するポイント発生通

知ステップを更に有する請求項 1 記載の情報処理方法。

【請求項 10】 商品またはサービスの売買によって発  
生するポイントを管理するポイント管理方法において、  
商品またはサービスの売買によって発生するポイントと  
顧客情報とをポイント集計サーバから取得するポイント  
取得ステップと、

前記ポイント取得ステップによって取得したポイント  
に、各ポイントを一意的に識別するための識別コードを  
付与する識別コード付与ステップと、

前記識別コード付与ステップによって識別コードを付与  
されたポイントを前記顧客情報とともに記憶する記憶ス  
テップと、

前記識別コード付与ステップによって識別コードを付与  
されたポイントを前記ポイント集計サーバに送信するポ  
イント送信ステップと、

を有することを特徴とするポイント管理方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は情報処理方法及びポ  
イント管理方法に関し、特に、商品またはサービスの売  
買によって発生するポイントに対する処理及び管理を行  
う情報処理方法及びポイント管理方法に関する。

【0002】

【従来の技術】クレジットカード等の決済カードでは、  
カードの使用代金に応じて、カード会社がいわゆる「ポ  
イント」を顧客に発行し、ポイントが一定量蓄積された  
場合には、商品またはサービス等（以下、商品等と称  
す）と交換するサービスが提供される場合が少なくない。

【0003】近年では、小売店が、例えば、「ポイント  
カード」と呼ばれるカードを発行し、商品等の購入代金  
に応じてポイントを発行し、蓄積されたポイントと商品  
等との交換を行う場合も少なくない。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかし、このような決  
済カードやポイントカードは、各社がそれぞれの独自に  
サービスを提供していることから、ポイント間の互換性  
がなく、例えば、ある決済カードで蓄積されたポイント  
と、他の決済カードが提供する商品等を交換することが  
できないという問題点があった。

【0005】また、交換可能な商品等の種類について  
も、高々数十品種程度であり、商品等の選択肢が少ない  
という問題点があった。更に、商品等を購入するという  
行為以外には、ポイントを増加させる方法が存在しなかつたため、たとえ、欲しい商品等が存在している場合であつても、ポイントが一定量に達するまで待たなければならないという問題点があった。

【0006】本発明はこのような点に鑑みてなされたものであり、顧客に対して決済カードの使用を促すことが可能な情報処理方法を提供することを目的とする。

## 【0007】

【課題を解決するための手段】本発明では上記課題を解決するために、商品またはサービスの売買によって発生するポイントに対する処理を行う情報処理方法において、商品またはサービスの売買によって発生するポイント、複数のポイントサービス提供者から取得するポイント取得ステップと、ポイント取得ステップによって取得したポイントを顧客毎に分別する分別ステップと、分別ステップによって分別されたポイントを顧客毎に累積する累積ステップと、を有することを特徴とする情報処理方法が提供される。

【0008】ここで、図1に示すように、ポイント取得手段1aは、小売店等において決済カードを用いた決済により発生したポイントを取得する。分別手段1bは、ポイントを顧客毎に分別する。価値統一手段1cは、決済カード毎にポイントの価値が異なる場合にはこれを統一する。累積手段1dは、価値が統一されたポイントを顧客毎に累積する。顧客は、このようにして累積された自己のポイントを商品等と交換することが可能となる。

【0009】また、本発明では、商品またはサービスの売買によって発生するポイントに対する処理を行うサーバとの間で情報を授受するクライアントの情報処理方法において、サーバにアクセスし、顧客を認証するための認証情報を送信する認証情報送信ステップと、商品またはサービスの売買によって発生したポイントに関する情報を取得するポイント情報取得ステップと、ポイント情報を表示装置に出力する出力ステップと、を有することを特徴とする情報処理方法が提供される。

【0010】ここで、図1に示すように、認証情報送信手段2aは、累積手段1dに格納されているポイント参照し、ポイント集計サーバ1にログインするための認証情報を送信する。ポイント情報取得手段2bは、認証に成功した場合において、ポイント集計サーバ1から送信されてきたポイント情報を取得する。出力手段2cは、ポイント情報取得手段2bによって取得されたポイント情報を表示装置2dに出力する。顧客は、顧客側クライアント2の表示装置2dに表示されるポイント情報を参照することにより、現在所有しているポイントを知ることが可能となる。

【0011】また、本発明では、商品またはサービスの売買によって発生するポイントと顧客情報をポイント集計サーバから取得するポイント取得ステップと、前記ポイント取得ステップによって取得したポイントに、各ポイントを一意的に識別するための識別コードを付与する識別コード付与ステップと、前記識別コード付与ステップによって識別コードを付与されたポイントを前記顧客情報とともに記憶する記憶ステップと、前記識別コード付与ステップによって識別コードを付与されたポイントを前記ポイント

集計サーバに送信するポイント送信ステップと、を有することを特徴とするポイント管理方法が提供される。

【0012】このような、ポイント管理方法では、識別コードを付与するサーバを設け、商品またはサービスの売買によって発生するポイントと顧客情報をポイント集計サーバから取得し、取得したポイントに各ポイントを一意的に識別するための識別コードを付与し、付与されたポイントを記憶する。また、識別コードを付与されたポイントをポイント集計サーバに送信する。これにより、不正行為を行う第三者が扱う、識別コードを付与されていないポイントを差別化する。

## 【0013】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面を参照して説明する。図1は、本発明の動作原理を説明する原理図である。

【0014】この図において、ポイント集計サーバ1は、カード会社6、7または小売店4、5が商品等の売買に関連して顧客に提供するポイントを集計し、顧客に対して種々のサービスを提供する。

【0015】ここで、ポイント取得手段1aは、小売店4、5における商品等の売買によって発生するポイント、複数のポイントサービス提供者から取得する。分別手段1bは、ポイント取得手段1aによって取得したポイントを顧客毎に分別する。

【0016】価値統一手段1cは、取得されたポイントの価値が、ポイントサービス提供者毎に異なる場合には、価値の統一を図る。累積手段1dは、価値統一手段1cによって価値が統一されたポイントを顧客毎に累積する。

【0017】顧客側クライアント2は、カード会社6、7が提供する決済カードまたは小売店4、5が提供するポイントカードを複数有している顧客が有するクライアントである。

【0018】ここで、認証情報送信手段2aは、ポイント集計サーバ1にログインする際に、顧客を認証するために認証情報を送信する。ポイント情報取得手段2bは、小売店4、5における商品等の売買によって発生したポイントに関する情報を取得する。

【0019】出力手段2cは、ポイント情報を表示装置2dに出力する。ネットワーク3は、例えば、インターネットであり、ポイント集計サーバ1、顧客側クライアント2、小売店4、5、および、カード会社6、7を相互に接続し、これらの間でデータを送受信する。

【0020】小売店4、5は、ポイントカードサービスを提供する小売店と提供しない小売店の何れでもよい。カード会社6、7は、決済カードを提供するとともに、決済カードの使用に応じたポイントを顧客に対して提供する。

【0021】次に、以上の原理図の動作について説明する。いま、顧客側クライアント2を有する顧客が、カー

ド会社 6 が提供する決済カードを用いて、小売店 4 で商品等を購入したとすると、小売店 4 はカード会社 6 に問い合わせることにより、決済カードの与信チェックを行い、与信チェックをクリアした場合には、顧客に対して商品等を受け渡す。また、決済に関する情報は、カード会社 6 に送信され、そこに記録される。

【0022】カード会社 6 では、購入された商品等の代金に応じてポイントを発行し、顧客毎に分類して記録するとともに、ポイント集計サーバ 1 に対してポイントが発生したことを示す情報を送信する。

【0023】ポイント集計サーバ 1 では、ポイント取得手段 1 a がこの情報を受信し、分別手段 1 b に受け渡す。分別手段 1 b は、カード会社 6 から供給された情報を、顧客毎に分別して価値統一手段 1 c に供給する。

【0024】価値統一手段 1 c は、カード会社または小売店毎に異なるポイントの価値を統一する。例えば、カード会社 6 では 1 ポイントは 1 円相当であり、カード会社 7 では 5 円相当である場合には、後者のポイントに統一する。

【0025】累積手段 1 d は、価値統一手段 1 c によって価値が統一されたポイントを、顧客毎に累積する。続いて、この顧客が小売店 5 において、カード会社 7 の決済カードを用いて商品等を購入したとすると、前述の場合と同様の処理により、新たに発生したポイントが累積手段 1 d に蓄積されることになる。

【0026】このようにして、顧客が決済カード（またはポイントカード）を使用する毎に、発生したポイントがポイント集計サーバ 1 に記録されることになる。このような状態において、顧客が顧客側クライアント 2 を操作して、ポイント集計サーバ 1 に対して、蓄積されたポイントに対する照会要求を行ったとすると、まず、認証情報送信手段 2 a が、認証情報をポイント集計サーバ 1 に送信し、正規のユーザであるか否かの認証を受けた後、正規のユーザであると認められた場合には、ポイント情報取得手段 2 b が、ポイント集計サーバ 1 の累積手段 1 d に格納されている、当該顧客のポイント情報を取得する。

【0027】出力手段 2 c は、取得されたポイント情報を、表示装置 2 d に供給して表示させる。その結果、顧客は、現在までにおいて、全ての決済カードに蓄積されているポイント数を簡単に知ることが可能となる。

【0028】また、その際に、交換可能な商品等の一覧を表示装置 2 d に表示させ、その中から所望の商品等を選択すると、その商品の発送依頼がポイント集計サーバ 1 から、例えば、小売店 4 に対してなされるとともに、累積手段 1 d に格納されているポイント数を該当する分だけ減算するようにすれば、ポイントと商品等とを簡単に交換することが可能となる。

【0029】次に、本発明の第 1 の実施の形態の構成例について説明する。図 2 は、本発明の第 1 の実施の形態

の構成例を示す図である。この図において、ポイント集計サーバ 30 は、CPU (Central Processing Unit) 30 a、ROM (Read Only Memory) 30 b、RAM (Random Access Memory) 30 c、HDD (Hard Disk Drive) 30 d、バス 30 e、および、I/F (Interface) 30 f、30 g によって構成されており、顧客が小売店等において商品等を購入した際に発行されるポイントを累積するとともに、ポイントに関する種々のサービスを提供する。

10 【0030】ネットワーク 31 は、例えば、インターネットによって構成され、ポイント集計サーバ 30、顧客側クライアント 32-1、32-2、および、小売店側クライアント 33-1、33-2 を相互に接続し、これらの間で情報を送受信する。

【0031】顧客側クライアント 32-1、32-2 は、顧客側に配置されたクライアントであり、例えば、パーソナルコンピュータによって構成されている。小売店側クライアント 33-1、33-2 は、小売店に配置されたクライアントであり、例えば、パーソナルコンピュータによって構成されている。

20 【0032】ネットワーク 34 は、例えば、インターネットや専用回線によって構成され、ポイント集計サーバ 30 とカード会社側サーバ 35-1~35-3 とを相互に接続し、これらの間で情報を送受信する。

【0033】なお、この図には示していないが、ネットワーク 31 とネットワーク 34 は、相互に接続されており、これらの間で情報の授受が可能とされている。次に、以上の第 1 の実施の形態の動作について説明する。

30 【0034】まず、顧客がポイント集計サーバ 30 が提供するサービスを楽しむためには、ポイント集計サーバ 30 にアクセスし、ユーザ登録することが条件となる。以下では、顧客が顧客側クライアント 32-1 を操作して、ユーザ登録を行う場合について説明する。

【0035】図 3 は、ユーザ登録を行う際に顧客側クライアント 32-1 に表示される画面の一例である。この表示例では、ユーザ登録を行う際に必要な情報を入力するためのテキストボックス 40 a~40 f が表示されており、画面の最下部には設定内容で登録する場合に操作される OK ボタン 40 g が表示されている。この例では、テキストボックス 40 a~40 f には、それぞれ、「氏名」、「性別」、「年齢」、「住所」、「電話番号」、および、「e-mail」のアドレスが入力されている。

【0036】このように、各項目に対して入力を行った後、OK ボタン 40 g が操作されると、入力された情報がネットワーク 31 を介してポイント集計サーバ 30 に送信される。

50 【0037】ポイント集計サーバ 30 では、受信した情報を HDD 30 d に登録するとともに、カード会社側サーバ 35-1~35-3 に対して問い合わせを行い、こ

の顧客が決済カードを所有しているか否かを判定する。

【0038】仮に、この顧客が決済カード「A-CARD」、「V-CARD」、「M-CARD」、「F-CARD」、および、「Z-CARD」を使用していることが確認できた場合には、ポイント集計サーバ30は、これらのカード群のうち、ポイント集計の対象とする決済カードを選択させる画面を顧客側クライアント32-1に表示させる。

【0039】図4は、このとき、顧客側クライアント32-1に表示される画面の一例である。この例では、顧客が所有している決済カードの一覧がチェックボックスとともに領域50aに表示されている。顧客は、ポイントを集計する決済カードを、チェックボックスにより指定し、OKボタン50bを操作すると、選択された決済カードを示す情報がポイント集計サーバ30に送信される。

【0040】続いて、ポイント集計サーバ30は、図4に示す画面において選択された決済カードのカード番号を入力するための画面を、顧客側クライアント32-1に送信して表示させる。

【0041】図5は、このとき、顧客側クライアント32-1に表示される画面の一例である。この表示例では、図4に示す画面において選択された決済カードの名称と、テキストボックス60a～60cおよびテキストボックス60e～60gが表示されており、それぞれの決済カードのカード番号および暗証番号を入力する。入力が終了すると、OKボタン60dを操作することにより、カード番号および暗証番号がポイント集計サーバ30に送信される。

【0042】ポイント集計サーバ30は、受信したカード番号および暗証番号と、顧客名とを、カード会社側サーバ35-1～35-3に送信し、正規のユーザであるか否かの認証処理を依頼する。その結果として、認証に成功した場合には、カード会社側サーバ35-1～35-3は、このユーザに供与されたポイントに関する情報を送信する。

【0043】ポイントに関する情報を受信したポイント集計サーバ30は、顧客のユーザIDを発生し、図6に示すような画面70を顧客側クライアント32-1に表示させる。この表示例では、画面70の領域70aに各カードのポイント数とその合計が表示されており、領域70bにはこの顧客のユーザID「U0000001」が表示されている。また、領域70cには、顧客が希望するパスワードを入力するためのテキストボックスが表示されている。

【0044】このようなテキストボックスにおいて、顧客が希望するパスワード「XYZ012345」が入力され、OKボタン70dが操作された場合には、パスワードがポイント集計サーバ30に送信されることになる。

【0045】パスワードを受信したポイント集計サーバ30では、HDD30dに対して、この顧客に対する顧客情報を登録する。図7は、顧客情報の一例である。この図に示すように、顧客情報は、顧客の「氏名」、「性別」、「年齢」、「ユーザID」、「パスワード」、「住所」、「電話番号」、「e-mail」、「使用カード」、および、「合計ポイント」により構成されている。なお、合計ポイントは全ての決済カードのポイントを合計した値である。

【0046】また、ポイント集計サーバ30は、ポイントの集計対象となる決済カードに対応するカード会社側サーバ35-1に対して、集計サービスの対象となったことを通知する。その結果、カード会社側サーバ35-1に記録されている、図8に示す、顧客情報（詳細は後述）に対して、集計サービスを使用している旨が記録されることになる。

【0047】次に、顧客が小売店側クライアント33-1が配置された小売店で、決済カードを用いて商品等を購入した場合の動作について説明する。なお、顧客が使用した決済カードは、「A-CARD」であり、この決済カードはカード会社側サーバ35-1が配置されたカード会社によって提供されるものであるとする。

【0048】顧客が小売店において、商品等を購入し、その代金をA-CARDで決済することを希望したとすると、店員は、まず、カード会社側サーバ35-1に対して問い合わせを行うことにより、カードの与信処理を行って決済カードが使用可能であるか否かをチェックする。

【0049】図8は、カード会社側サーバ35-1に格納されている、この顧客に関する顧客情報の一例である。この例は、顧客の「氏名」、「性別」、「年齢」、「カード番号」、「カード期限」、「住所」、「電話番号」、「e-mail」、「集計サービス」、「今月使用内訳」、「合計ポイント」、および、「累積ポイント」から構成されている。ここで、「集計サービス」は、ポイント集計サーバ30によるポイントの集計サービスに加入しているか否かを示す情報であり、この例では、先に申し込んでいるので「使用」となっている。

「今月使用内訳」は、該当月においてA-CARDによる決済の履歴と、そのときに発生したポイントとが格納されている。「合計ポイント」は、当該月において発生したポイントの合計であり、「累積ポイント」は、当該月までに累積された全ポイントを示す。

【0050】与信チェックでは、図8に示す情報のうち、「カード番号」および「カード期限」が参照され、カードの使用の可否が判定される。そして、与信チェックの結果、決済カードが使用可能であると判定された場合には、決済カードから代金を引き落とす手続きが行われ、決済情報がカード会社側サーバ35-1に対して送信される。

【0051】決済情報を受信したカード会社側サーバ35-1は、図9に示すように「今月使用内訳」に対して新たな商品に関する情報を追加するとともに、その商品に関して発生したポイントを追加する。この例では、図8との比較から明らかなように、「9月26日」に「D書籍」において、「8000円」の商品等が購入されたことが示されており、その際にポイントが16ポイント発生していることが分かる。その結果、「合計ポイント」は27ポイントから43ポイントに増加し、また、「累積ポイント」は32ポイントから48ポイントに増加している。

【0052】この顧客は、ポイント集計サービスに加入しているので、カード会社側サーバ35-1は、新たに発生したポイントに関する情報を、ポイント集計サーバ30に対して通知する。

【0053】その結果、ポイント集計サーバ30は、新たに発生したポイントを、該当する顧客の顧客情報に対して加算する。図10は、新たに発生したポイントが加算された後の顧客情報である。図7との比較から、A-CARDの累積ポイントが32から48に変更されている。また、それに対応して合計ポイントが643から659に変更されている。

【0054】続いて、ポイント集計サーバ30は、ポイントが発生した旨を通知する電子メールを作成し、顧客側クライアント32-1に対して送信する。図11は、このとき、顧客側クライアント32-1に対して送信される電子メールの一例である。この例では、購入した商品等に関する情報と、発生したポイント数その他が記載されている。なお、「ご使用カード累積ポイント数」は、A-CARDに蓄積しているポイントを示す。また、「全カード合計ポイント」は、全てのカードの累積ポイントを合計したものである。

【0055】なお、以上の処理は、他の決済カードを使用した場合にも実施され、ポイント集計サーバ30によってポイントが合算されることになる。ところで、ポイント集計サーバ30に格納された情報は、顧客が主体的にアクセスして参照することも可能である。図12は、そのような場合に、顧客側クライアント32-1に表示される画面の一例である。この例では、各カードの累積ポイントと、累積ポイントの合計とが領域75aに表示されている。なお、このような画面を表示させるためには、顧客が顧客側クライアント32-1からポイント集計サーバ30にアクセスし、認証処理により正規のユーザであることを確認した後に、所定の指示をポイント集計サーバ30に送ることで可能になる。

【0056】次に、ポイントを商品に交換する際の処理について説明する。例えば、図11に示す電子メールまたは図12に示す画面により、所定量のポイントが蓄積されていることを知った顧客が、ポイントと商品とを交換する場合には、まず、ポイント集計サーバ30にアク

セスし、図13に示す商品交換のための画面80を表示させる。この表示例では、累積ポイントが659であることが示され、また、600ポイント以下で交換可能な商品の一例が示されている。

【0057】また、画面80の最下部には、前のページに移動する前ページボタン80a、次ページへ移動する次ページボタン80b、および、この画面80において選択された商品との交換を実行する際に操作されるOKボタン80cが表示されている。

【0058】例えば、このような画面80において、「ヴァイオリン」が選択され、OKボタン80cが操作されたとすると、ポイント集計サーバ30は、ヴァイオリンが交換対象の商品として選択されたことを認知し、まず、この商品の在庫確認を行う。そして、在庫が確認された場合には、HDD30dに格納されている顧客情報から、ヴァイオリンに相当するポイント「480」を減算する。その結果、図14に示すように、合計ポイントが480だけ減少することになる。また、各カードの累積ポイントも該当する分だけ減算する必要があるが、この例では、合計ポイントから商品分のポイントを減算した残りを決済カードの枚数で除して得られた値を、それぞれの累積ポイントとしている。なお、これ以外にも、図15に示すように、顧客に決済カードを特定させ、特定されたカードからポイントを減算する方法等も考えられる。

【0059】この例では、画面85の領域85aにおいて減算対象の決済カードを特定し、減算選択ボタン85bを操作することにより、目的の決済カードから所望のポイントを減算することができる。

【0060】ポイントの減算が終了すると、ポイント集計サーバ30は、累積ポイントが変化した決済カードに対応するカード会社側サーバに対して、ポイントが使用された旨を通知する。その結果、カード会社側サーバに格納されている顧客情報の累積ポイントから、所定量だけポイントが減算されることになる。

【0061】以上に説明したように、本発明の第1の実施の形態によれば、複数の決済カードで発生したポイントを集計するとともに、集計されたポイントと、商品等との交換を可能としたので、交換可能な商品の幅を広げることが可能となる。

【0062】また、顧客が決済カードを使用した場合には、電子メールによって利用明細と、ポイントの発生数が通知されるので、従来のように、カード会社が一定の期間毎にまとめて手紙で利用明細書を発送する場合に比較して、顧客は利用状況を即座に知ることが可能となる。一方、カード会社は、手紙を送る手間を省略することが可能となる。

【0063】更に、ポイント集計サーバ30にアクセスすることにより、ポイントの累積状況を即座に知ることができるので、従来のように、利用明細書とともに通知

する場合に比較し、顧客はいつでもポイントの累積状況を確認することが可能となる。

【0064】次に、顧客間でポイントに移転する場合の動作について説明する。第1の実施の形態においては、顧客間でポイントに移転することも可能である。その場合、移転の際の条件は、当事者間の合意に基づくのが原則であるが、第1の実施の形態では、より有利な条件での移転を可能とするために、ポイントのオークションを行うことが可能である。以下にその説明をする。

【0065】図16は、ポイントを販売するためのオークションの表示例である。この例では、オークションの対象となっているアイテムとしてのポイントが領域90bに一覧表示されている。例えば、No. 1のアイテムの場合は、「1500」ポイントが、売却者「Hiroshi」によって出品されており、開始価格は「10000円」であり、現在の価格は「13000円」であり、入札件数は「5」件であり、残り時間が「3時間」であることが示されている。

【0066】画面90の右上には、この画面を参照している顧客が自己のポイントを出品する際に操作するホットテキスト「出品する」90aが表示されている。また、領域90bの右端には、各アイテムに対して入札する際に操作される入札ボタンが表示されている。更に、画面90の右下には、この画面を終了する際に操作されるOKボタン90cが表示されている。

【0067】このような画面90において、ホットテキスト「出品する」が操作された場合には、図17に示すような画面100が表示される。この画面100には、オークションに出品するために必要な情報を入力するためのテキストボックス100a~100gが表示されている。また、画面100の最下部には、入力した内容でオークションに出品する場合に操作されるOKボタン100hが表示されている。ここで、「ユーザID」および「パスワード」は、図6に示すユーザ登録時に交付されたものである。また、「ハンドル名」は、オークションに参加する際に使用する名前である。「ポイント数」は、出品するポイントの数である。「開始価格」は、オークションを開始する際の設定価格である。「最低落札価格」は、これ以上の価格がつかない場合には、落札できない価格である。「終了日時」は、オークションの終了する日時である。

【0068】画面100において、図17に示すような情報が入力された後、OKボタン100hが操作された場合には、入力された情報がHDD30dに格納されるとともに、登録された情報がオークションに反映されることになる。

【0069】図18は、図16に示すオークションの画面90に対して、図17に示す画面100から入力された情報が反映された場合の表示例である。この例では、図17において入力されたポイントが追加表示されてい

る。

【0070】図19は、図16に示す画面において、最初の行に表示されたアイテムに対する入札ボタンを操作した場合に表示される画面の一例である。この画面110では、オークションに入札するために必要な情報を入力するためのテキストボックス110a~110dが表示されている。また、画面110の最下部には、入力した内容で入札する際に操作されるOKボタン110eが表示されている。

【0071】図20は、図19に示す入札がなされた後の、オークションの画面を示している。図19に示す画面110では、入札価格として「14000円」が入力されており、これがその時点での最高価格であるので、現在価格が13000円から14000円に変更され、また、入札件数が5件から6件に変更されている。

【0072】オークション開始時に図17に示す画面100において設定された終了日時が経過すると、オークションが終了し、その時点で最高価格をつけていた入札者が落札者となる。なお、落札されなかった場合には、オークションを終了するか、または、条件等を変更して再度出品することも可能である。

【0073】オークションが完了すると、出品者に対して、図21に示すような電子メールが送信される。この例では、「オークション終了通知」という表題に続いて、オークションに出品したポイントが落札されたので、落札者と連絡を取って代金の授受方法を決定するように促すメッセージが記載されている。また、その下の段落には、代金の授受が完了した場合には、添付のURLをクリックして、パスワードを入力することにより、所定のホームページにアクセスするように促すメッセージが記載されている。

【0074】顧客が添付のURLをクリックすることによって起動されたブラウザにおいて、パスワード「121212」を入力すると、図22に示す画面120が表示されることになる。

【0075】この画面120では、テキストボックス120a~120cに対して、ポイントの移転元の情報を入力し、テキストボックス120d、120eには、移転先の情報が入力される。具体的には、テキストボックス120a~120cには、オークション出品者の「ユーザID」、「パスワード」、および、「移転ポイント数」が入力される。また、テキストボックス120d、120eには、オークション落札者の「ユーザID」、および、「ハンドル名」が入力される。

【0076】必要な項目の入力が完了し、OKボタン120fが操作されると、ポイント集計サーバ30は、先ず、移転元情報を取得して認証処理を行い、オークション出品者が正規のユーザであるか否かを判定する。そして、正規のユーザであると判定した場合には、顧客情報から「移転ポイント数」によって指定されたポイント



減算し、また、関連するカード会社側サーバに対してポイントが減算されたことを通知する。

【0077】続いて、ポイント集計サーバ30は、移転先情報を取得し、該当するユーザが存在するか否かを判定する。そして、該当するユーザが存在する場合には、顧客情報を取得し、移転ポイント数で指定されたポイントを加算するとともに、関連するカード会社側サーバに対してポイントが加算されたことを通知する。

【0078】以上の操作により、オークションで決定された取引条件に基づいて、顧客間でポイントに移転することが可能となるので、ポイントが不要な顧客とポイントが必要な顧客の間で妥当な価格によりポイントを買売することが可能となる。その結果、ポイントを更に有効に利用することが可能となる。

【0079】なお、以上の第1の実施の形態は、ポイント売却するオークションの一例であるが、ポイントを購入する場合にもオークション（逆オークション）の利用が可能である。

【0080】図23は、逆オークションの一例を示す図である。この表示例では、出品者が購入しようとするポイント数、購入者のハンドル名、オークションの開始価格、現在の価格である現在価格、現在までの入札件数、および、オークションの残り時間が表示されている。入札ボタンその他は、図16の場合と同様であるので、その説明は省略する。

【0081】逆オークションでは、最も安い金額（売却金額）をつけた入札者が落札者となるので、オークションが開始されると、入札の度に現在価格が安くなっていく。そして、残り時間が0になった時点において最低価格を付けていた入札者が落札者となる。

【0082】以上に示す逆オークションによれば、ポイントが必要な顧客は、妥当な価格でこれを入手することが可能となる。ところで、以上の第1の実施の形態では、顧客間でポイントを授受する場合について説明したが、例えば、顧客とポイント集計サーバの運営業者との間でポイントの授受を行うことも可能である。

【0083】図24は、そのような場合の一例を示す画面の表示例である。なお、この画面140は、ポイントと交換可能な商品の一覧画面において、顧客が現在所有しているポイント数を上回る商品を指定した場合に表示される。

【0084】この表示例では、商品とポイントとを交換するためには、30ポイント不足しているので、その下の選択肢から何れかを選択するように促すメッセージが表示されている。そして、選択肢としては、「(1) 交換しないで終了する。」、「(2) 来月分のポイントで相殺する。」、および、「(3) 不足分の代金をカードから引き落とす。」が表示されている。

【0085】ここで、「(1) 交換しないで終了する。」は、ポイントと商品との交換を実行しないで終了

する選択肢である。また、「(2) 来月分のポイントで相殺する。」は、その次の月に発生したポイントで不足分を相殺する選択肢である。なお、相殺出来なかった場合（発生したポイントが不十分である場合）には、その次の月の発生分と相殺するか、または、決済カードから不足分に相当する金額を引き落とすようにしてもよい。

【0086】更に、「(3) 不足分の代金をカードから引き落とす。」は、不足分に相当する金額を、指定された決済カードから引き落とすことにより、商品との交換を可能にする選択肢である。

【0087】このように、ポイントが不足している場合でも、商品との交換を可能としたので、ポイントの利用価値を更に高めることが可能となる。なお、以上の第1の実施の形態では、ポイントと商品の交換は、ホームページ上で行うようにしたが、小売店で実際に商品を見てから決定することも可能である。

【0088】例えば、顧客が小売店で商品を購入しようとする際に、ポイントによる決済を依頼すると、小売店側クライアントには、図25に示す画面145が表示される。この例では、購入しようとする商品に関する情報が表示されるとともに、支払い方法を選択するための情報が表示されている。

【0089】このような画面145において、「ポイント」による支払いを選択すると、購入者の氏名およびパスワード（または、電話番号等）を入力する画面（図示せず）が表示されるので、必要項目を入力すると、ポイント集計サーバ30に対して問い合わせが発せられる。ポイント集計サーバ30は、問い合わせのあった顧客情報を参照して認証を行い、正規のユーザである場合には、商品の代金に相当するポイントを減算した後、手続きが完了した旨を小売店側クライアントに通知する。

【0090】ポイント集計サーバ30から手続き完了の通知を受けた小売店側クライアントでは、その旨を示すメッセージが表示されるので、店員は顧客に対して商品等を受け渡すことができる。

【0091】以上の処理によれば、小売店においてもポイントを用いて商品等を購入することが可能となるので、商品の選択の幅を広げることが可能となるとともに、ポイントの利用価値を更に高めることが可能となる。

【0092】ところで、ポイント集計サーバ30には、複数の顧客の情報が管理されているので、この情報を用いることにより、効率的にダイレクトメール（DM）を送送することが可能となる。

【0093】図26は、ダイレクトメールを送信する顧客を選別するための条件を入力する画面の一例である。この画面150では、顧客を選別する条件を入力するテキストボックス150a～150dが表示されている。テキストボックス150aには、顧客が居住する「地区」が入力される。テキストボックス150bには、顧

客の「性別」が入力される。テキストボックス150cには、顧客の「年齢」が入力される。また、テキストボックス150dには、顧客が有する「合計ポイント数」が入力される。

【0094】このような画面150において、所定の条件が入力された後、OKボタン150eが操作されると、入力された項目に該当する顧客情報がHDD30dから検索され、各顧客宛の電子メールが作成されることになる。このようにして作成された電子メールは、ネットワーク31を介して該当する顧客側クライアントに対して送信されることになる。

【0095】図27は、以上の処理によって生成された電子メールの一例である。この例では、「新作高級ブランドスーツ発売のお知らせ。」という表題に続いて、限定販売の新作スーツが〇×デパートで11月10日に発売される旨のメッセージが記載されている。

【0096】このように、ポイント集計サーバ30に登録されている顧客情報を利用してダイレクトメールを送信すると、より正確な情報に基づいて顧客の選別を行うことが可能となる。即ち、顧客が複数の決済カードを有している場合には、全てのカードの使用状況が把握できるので、単一の決済カードのみの情報を参照する場合に比べて、利用状況を漏れなく確実に把握することが可能となるからである。

【0097】次に、以上の第1の実施の形態において実行される処理の一例について図28～34を参照して説明する。まず、図28は、ポイント集計サーバ30に会員登録する場合に実行されるフローチャートの一例である。このフローチャートが開始されると、以下の処理が実行される。

【0098】[S10] CPU30aは、アクセスしてきた顧客側クライアントに対して、HDD30dに格納されている所定のHTML (Hyper Text Markup Language) 文書を送信する。その結果、顧客側クライアントのブラウザには、図3に示すような登録画面40が表示される。

【0099】[S11] CPU30aは、図3に示すような登録画面40において入力された項目を取得する。

[S12] CPU30aは、カード会社が有するカード会社側サーバ35-1～35-3に対して問い合わせを行い、登録を申請した顧客が決済カードを有しているか否かを判定する。

【0100】[S13] CPU30aは、図4に示すような画面50を顧客側クライアントに送信し、サービス対象カード名を表示させる。

[S14] CPU30aは、図4に示すような画面50において、指定されたカード名を取得する。

【0101】[S15] CPU30aは、図5に示すような画面60を顧客側クライアントに表示させ、指定されたカードのカード番号を取得する。

[S16] CPU30aは、図6に示すような登録完了の画面70を顧客側クライアントに表示させる。

【0102】[S17] CPU30aは、図6に示すような画面70において入力されたパスワードを取得する。

[S18] CPU30aは、図7に示すような顧客情報をHDD30dに登録する。

【0103】次に、図29を参照して、カード会社側サーバ35-1～35-3から、ポイントが発生した旨がポイント集計サーバ30に通知された場合に実行されるフローチャートの一例について説明する。このフローチャートが開始されると、以下の処理が実行される。

【0104】[S30] CPU30aは、カード会社側サーバ35-1～35-3からポイントが発生した旨が通知されたか否かを判定し、ポイントが発生した場合にはステップS31に進み、それ以外の場合には処理を終了する。

【0105】[S31] CPU30aは、ポイントの発生に関連するカード会社と顧客を特定する。

[S32] CPU30aは、HDD30dに格納されている該当する顧客情報の該当する決済カードの累積ポイントに対して発生したポイントを加算して更新する。

【0106】[S33] CPU30aは、顧客情報の合計ポイントに対して発生したポイントを加算して更新する。

[S34] CPU30aは、発生したポイントに対する代金および手数料を、カード会社から徴収する決済処理を実行する。具体的には、該当する代金および手数料をカード会社の有する銀行口座から引き落とす。

【0107】[S35] CPU30aは、図11に示すような、電子メールを顧客に対して送信し、決済カードの利用明細と、ポイントの発生状況とを顧客に通知する。次に、図30を参照して、顧客からポイントに対する問い合わせがなされた場合に実行されるフローチャートの一例について説明する。このフローチャートが開始されると、以下の処理が実行される。

【0108】[S40] CPU30aは、顧客情報を参照し、アクセスしてきた顧客の認証処理を実行する。

[S41] CPU30aは、顧客が正規のユーザである場合にはステップS42に進み、それ以外の場合には処理を終了する。

【0109】[S42] CPU30aは、アクセスしてきた顧客に対応する顧客情報をHDD30dから検索する。

[S43] CPU30aは、顧客情報からポイント情報を取得する。

【0110】[S44] CPU30aは、ポイント情報を含むHTML文書を生成してアクセスしてきた顧客側クライアントに送信し、図12に示すような画面75を表示させる。

【0111】次に、図31を参照してホームページ上において、ポイントと商品とを交換する際に実行される処理の一例について説明する。このフローチャートが開始されると、以下の処理が実行される。

【0112】[S50] CPU30aは、アクセスしてきた顧客の認証処理を実行する。

[S51] CPU30aは、正規のユーザか否かを判定し、正規のユーザである場合にはステップS52に進み、それ以外の場合には処理を終了する。

【0113】[S52] CPU30aは、顧客に対応する顧客情報をHDD30dから検索する。

[S53] CPU30aは、顧客情報からポイント情報を取得する。

【0114】[S54] CPU30aは、交換可能な商品に関するデータをHDD30dから取得する。

[S55] CPU30aは、ステップS54で取得したデータを要求を行った顧客側クライアントに送信し、交換可能な商品を図13に示すように一覧表示させる。

【0115】[S56] CPU30aは、商品が選択されたか否かを判定し、選択された場合にはステップS57に進み、それ以外の場合には同一の処理を繰り返す。

[S57] CPU30aは、指定された商品に対応するポイントを顧客情報から減算する。なお、十分なポイントが存在しない場合には、エラー画面を表示するか、図24に示す画面140を表示させる。

【0116】[S58] CPU30aは、ポイントが減算されたカードに対応するカード会社に対してポイントが減算された旨を通知する。

[S59] CPU30aは、商品の発送部門に対して、商品の発送依頼を行う。

【0117】次に、図32を参照して、オークションの際に実行される処理について説明する。このフローチャートが開始されると、以下の処理が実行される。

[S70] CPU30aは、図16に示すようなオークションの画面90を、要求を行った顧客側クライアントに送信して表示させる。

【0118】[S71] CPU30aは、ホットテキスト「出品する」90aが操作されたか否かを判定し、操作された場合にはステップS72に進み、それ以外の場合にはステップS75に進む。

【0119】[S72] CPU30aは、図17に示すようなオークション出品の画面100を要求を行った顧客側クライアントに送信して表示させる。

[S73] CPU30aは、図17に示す画面100において入力された項目を取得する。

【0120】[S74] CPU30aは、取得した情報に基づいてオークションに出品する処理を実行する。

[S75] CPU30aは、入札ボタンが操作されたか否かを判定し、操作された場合にはステップS76に進み、それ以外の場合には処理を終了する。

【0121】[S76] CPU30aは、図19に示すようなオークション入札の画面110を要求を行った顧客側クライアントに送信して表示させる。

[S77] CPU30aは、図19に示す画面110において入力された項目を取得する。

【0122】[S78] CPU30aは、取得した情報に基づいてオークションに入札する処理を実行する。次に、図33を参照して、オークションに出品されたポイントが落札された場合に実行される処理について説明する。このフローチャートが開始されると、以下の処理が実行される。

【0123】[S90] CPU30aは、オークションに出品されているポイントが落札されたか否かを判定し、落札された場合にはステップS91に進み、それ以外の場合には処理を終了する。

【0124】[S91] CPU30aは、図21に示すような電子メールを、出品者に対して送信する。

[S92] CPU30aは、図21に示すURLをクリックすることにより、出品者からアクセスがあったか否かを判定し、アクセスがあった場合にはステップS93に進み、それ以外の場合には同一の処理を繰り返す。

【0125】[S93] CPU30aは、アクセスしてきた顧客の認証処理を実行する。

[S94] CPU30aは、アクセスしてきた顧客が正規のユーザである場合にはステップS95に進み、それ以外の場合には処理を終了する。

【0126】[S95] CPU30aは、図22に示すようなポイント移転の画面120を、出品者の顧客側クライアントに送信して表示させる。

[S96] CPU30aは、図22に示すポイント移転の画面120において入力された項目を取得する。

【0127】[S97] CPU30aは、入力された項目に基づいて、指定されたポイントを、移転元から移転先に移転させる。次に、図34を参照し、ポイント集計サーバ30に格納されている顧客情報を利用して、ダイレクトメールを送信する場合の処理について説明する。このフローチャートが開始されると、以下の処理が実行される。

【0128】[S110] CPU30aは、図26に示すようなDM送信の画面150を、DMを送信しようとする管理者のクライアントに表示させる。

[S111] CPU30aは、条件の入力が終了したか否かを判定し、終了した場合にはステップS112に進み、それ以外の場合には同一の処理を繰り返す。

【0129】[S112] CPU30aは、画面150において入力された条件を取得する。

[S113] CPU30aは、HDD30dから条件に該当する顧客情報を検索する。

【0130】[S114] CPU30aは、条件に合致する顧客群に宛てた電子メールを作成する。

【S115】CPU30aは、該当する顧客群に対して作成した電子メールを送信する。

【0131】次に、本発明の第2の実施の形態について説明する。第2の実施の形態では、正規に発生したポイントに、識別コードを付与する識別コード付与サーバを設け、識別コードを付与されていない不正ポイントを差別化し、ポイントの流通を安全に行う。

【0132】図35は、本発明の第2の実施の形態の構成例を示す図である。この図において、ネットワーク164には、識別コード付与サーバ160と、ポイント集計サーバ161a、161b・・・と、顧客側クライアント162aa、162abと、小売店側クライアント162ba、162bbと、カード会社側サーバ163a～163cとが接続され、これらの間で情報の送受信が可能となっている。

【0133】識別コード付与サーバ160は、CPU160a、ROM160b、RAM160c、HDD160d、バス160e、および、I/F160fによって構成されており、顧客が小売店等において商品等を購入した際に発行されるポイントに識別コードを付与するとともに、ポイントに対して種々の処理を行う。

【0134】ポイント集計サーバ161aは、CPU161aa、ROM161ab、RAM161ac、HDD161ad、バス161ae、および、I/F161afによって構成されており、顧客が小売店等において商品等を購入した際に発行されるポイントを累積するとともに、ポイントに関する種々のサービスを提供する。

【0135】ポイント集計サーバ161bは、CPU161ba、ROM161bb、RAM161bc、HDD161bd、バス161be、および、I/F161bfによって構成されており、顧客が小売店等において商品等を購入した際に発行されるポイントを累積するとともに、ポイントに関する種々のサービスを提供する。

【0136】ポイント集計サーバ161a、161b・・・を配置する複数のポイントサービス会社が存在し、各々の会社がポイントの累積、ポイントに関する種々のサービスを提供する。

【0137】顧客側クライアント162aa、162abは、顧客側に配置されたクライアントであり、例えば、パーソナルコンピュータによって構成されている。小売店側クライアント162ba、162bbは、小売店に配置されたクライアントであり、例えば、パーソナルコンピュータによって構成されている。

【0138】ネットワーク164は、例えば、インターネットや専用回線によって構成される。次に、第2の実施の形態の動作について説明する。第1の実施の形態と同様の手順、動作については詳細な説明を省略する。

【0139】まず、顧客がポイントサービスを楽しむためには、自分の要求にかなうサービスを提供する、ポイントサービス会社のポイント集計サーバ161a、1

61b・・・にアクセスしてユーザ登録を行う必要がある。

【0140】顧客は、第1の実施の形態の手順と同様に、ユーザ登録に必要な情報を顧客側クライアント162aaから入力し、ポイント集計サーバ161aに送信する。ポイント集計サーバ161aは、ポイントの集計対象となる決済カードに対応するカード会社側サーバ163aに対して、集計サービスの対象となったことを通知する。カード会社側サーバ163aは、顧客がポイント集計サービスを使用している旨を登録し、ユーザ登録した顧客のポイント、および、顧客情報をポイント集計サーバ161aに送信する。

【0141】ポイント集計サーバ161aは、ユーザ登録によって得た、顧客の持つポイント、顧客情報を識別コード付与サーバ160に送信する。識別コード付与サーバ160は、ポイント集計サーバ161aから送られてきたポイントに、一意に識別するための識別コードを付与する。識別コード付与サーバ160は、顧客の情報とともに、ポイントに付与した識別コードをHDD160dに登録する。

【0142】図36は識別コード付与サーバに登録される顧客情報と識別コードの一例である。‘特許太郎’がユーザ登録したとすると、識別コード付与サーバ160のHDD160dには、図に示すように、‘特許太郎’の‘氏名’、‘特許太郎’が使用したカードの‘カード番号’、‘使用日時’、カードを使用した‘使用店舗’、カードの使用により発生した‘発生ポイント’、‘金額’、および発生したポイントに一意に付与される‘識別コード’、および、ポイントが商品交換に使用されたか否かを示す‘使用済みフラグ’（登録時はOFF状態、後述詳細）が登録される。

【0143】識別コード付与サーバ160は、ポイントに付与した識別コードをポイント集計サーバ161aに送信する。ポイント集計サーバ161aは、識別コードをHDD161adに保存する。

【0144】図37は、ポイント集計サーバに登録される顧客情報、ポイントに付与された識別コードの一例である。この図に示すように、ポイント集計サーバ161aのHDD161adには、‘特許太郎’の‘氏名’、‘性別’、‘年齢’、‘ユーザID’、‘パスワード’、‘住所’、‘電話番号’、‘e-mail’、‘使用カード’、‘合計ポイント’、および、識別コード付与サーバ160で付与されたポイントの‘識別コード’が登録される。図37に示す‘識別コード’（途中省略している）は、図36に示す‘識別コード’と同じであり、また、図37に示す‘A-CARD’、‘V-CARD’は、図36に示す‘カード番号’‘012345678902345’、‘012345678954321’に対応する。

【0145】次に、顧客が、小売店側クライアント16

2 b a が配置された小売店で、決済カードを用いて商品等を購入した場合の動作について説明する。ポイント集計サーバ 161 a に登録された顧客が小売店において、商品等を購入し、その代金を決済カードで決済することを希望したとする。店員は、カード会社側サーバ 163 a に対して決済情報を通知する。

【0146】決済情報を受信したカード会社側サーバ 163 a は、新たな商品購入に関する情報を追加するとともに、その商品に関して発生したポイントを記録する。また、この顧客は、ポイント集計サービスに加入している 10 のため、カード会社側サーバ 163 a は、新たに発生したポイントと顧客に関する情報をポイント集計サーバ 161 a に対して通知する。

【0147】ポイント集計サーバ 161 a は、新たに発生したポイントに識別コードを付与するため、カード会社側サーバ 163 a から受信したポイントと顧客情報を、識別コード付与サーバ 160 に送信する。

【0148】識別コード付与サーバ 160 は、新たに発生したポイントに一意の識別コードを付与し、顧客情報とともに HDD 160 d に記録する。図 38 は、ポイントが新たに発生した後の識別コード付与サーバに登録される顧客情報と識別コードの一例である。図 36 と比較して、「氏名」「特許太郎」の欄に、商品購入をした「カード番号」「使用日時」「使用店舗」「発生ポイント」「金額」「識別コード」「使用済みフラグ」が追加記録されている。

【0149】識別コード付与サーバ 160 は、ポイントに付与した識別コードをポイント集計サーバ 161 a に送信する。ポイント集計サーバ 161 a は、識別コード付与サーバ 160 から送信された識別コードを HDD 161 a d に記録する。図 39 は、ポイントが新たに発生した後のポイント集計サーバに登録される顧客情報、ポイントに付与された識別コードの一例である。図 37 と比較して、「A-CARD」に累積ポイントが「1」加算され、識別コード「CTU012345678901247」が追加記録されている（図 39 では、識別コードを途中省略している）。

【0150】続いて、ポイント集計サーバ 161 a は、ポイントが発生した旨を通知する電子メールを作成し、顧客側クライアント 162 a a に対して送信する。なお、以上の処理は、他の決済カードを使用した場合にも実施され、識別コード付与サーバ 160 によって識別コードが付与され、ポイント集計サーバ 161 a に通知される。また、2 以上のポイントが発生した場合、各々のポイントに一意の識別コードが付与される。

【0151】次に、ポイントの商品に交換する際の処理について説明する。所定量のポイントが蓄積されたことを知った顧客が、ポイントと商品とを交換する場合には、第 1 の実施の形態と同様の手順によって、ポイント集計サーバ 161 a にアクセスし、交換したい商品等を

選び、交換に使用するポイントのカードを選択する。

【0152】ポイント集計サーバ 161 a は、交換に使用されるポイントのカード番号と、交換に使用されるポイントの識別コードを識別コード付与サーバ 160 に送信する。

【0153】例えば、図 39 において、商品交換に使用されるカードとして「V-CARD」が選択され、商品交換に必要なポイントが 3 ポイントとすると、ポイント集計サーバ 161 a は、任意に識別コード「EFH987654321012345」「XDF543876521012345」「LKU987612321012345」（図 39 においては識別コードを途中省略している）を選び、識別コード付与サーバ 160 に送信する。

【0154】識別コード付与サーバ 160 は、HDD 160 d に保存してある「V-CARD」（「カード番号」「012345678954321」）に対するポイントの識別コードと、ポイント集計サーバ 161 a から送られてきた識別コードとを照合する。

【0155】照合結果より、送られてきた識別コードが HDD 160 d に保存されている場合、識別コード付与サーバ 160 は、ポイント数を減算し、商品交換に使用されるポイントに対応する使用済みフラグを ON にする。図 40 は、商品交換の際における識別コード付与サーバに登録される顧客情報と識別コードの一例である。図 38 と比較して、「カード番号」「012345678954321」（「V-CARD」）の発生ポイントが「5」から「2」に減算され、「識別コード」「EFH987654321012345」「XDF543876521012345」「LKU987612321012345」に対応する「使用済みフラグ」が「ON」にされている。使用済みフラグを「ON」にされた識別コードを持つポイントは、商品交換に使用された使用済みのポイントであることを示し、今後、ポイントサービスを受けることができないポイントとなる。

【0156】識別コード付与サーバ 160 は、識別コードが一致している旨の結果をポイント集計サーバ 161 a に送信する。ポイント集計サーバ 161 a は、商品交換に使用されるポイントが正規のものであると認識し、第 1 の実施の形態で述べた手順と同様に、商品交換のための処理を行う。

【0157】送られてきた識別コードが HDD 160 d に保存されていない場合、識別コード付与サーバ 160 は、その旨の結果をポイント集計サーバ 161 a に送信する。ポイント集計サーバ 161 a は、商品交換に使用されるポイントが不正に発行されたものとして、商品交換ができない旨を顧客に通知する。

【0158】次に、顧客間でポイントを移転する場合の動作について説明する。まず、ポイントのオークション出品について説明する。第 1 の実施の形態で述べたオー

クションの手順と同様に、オークションにポイントを出品するポイント数、および、必要な情報を入力する。出品するポイント数、および、情報は、ポイント集計サーバ161aのHDD161adに記録される。以下、図39における「A-CARD」のポイント数「3」を出品するとする。

【0159】ポイント集計サーバ161aは、ポイントの識別コード「AZW0123456789012345」「BAD012345679876436」「CTU012345678901247」（図39において10は途中省略している）と「A-CARD」のカード番号（012345678902345）を、識別コード付与サーバ160に送信する。

【0160】識別コード付与サーバ160は、受信した「A-CARD」のカード番号「012345678902345」に対応した、HDD160dに保存するポイントの識別コードと、ポイント集計サーバ161aから送られてきた識別コードとを照合する。

【0161】照合結果より、送られてきた識別コードがHDD160dに保存されてない場合、識別コード付与サーバ160は、その旨の結果をポイント集計サーバ161aに送信する。ポイント集計サーバ161aは、オークションに出品されるポイントが不正に発行されたものとして、出品ができない旨を顧客に通知する。

【0162】送られてきた識別コードがHDD160dに保存されている場合、識別コード付与サーバ160は、その旨をポイント集計サーバ161aに送信する。ポイント集計サーバ161aは、オークションに出品されるポイントが正規のポイントであると認識し、第1の実施の形態で述べた手順に従って、出品処理、または、30入札処理を行う。

【0163】このように、識別コード付与サーバ160によって、ポイントの識別コードを認証することによって、不正なポイントがオークションに出品されることを防止することができる。

【0164】次に、ポイントの落札について、ポイント集計サーバ161bにユーザ登録する「特許次郎」が、ポイント集計サーバ161aにユーザ登録する「特許太郎」が持つ識別コード「AZW0123456789012345」「BAD012345679876436」「CTU012345678901247」のポイント10を落札した場合について説明する。

【0165】第1の実施の形態で述べたポイントの落札の手順と同様に、ポイントがオークションによって落札された場合、出品者に対して電子メールが送信される。出品者は、電子メールの指示に従って、落札者と連絡をとり、代金の授受を行う。代金の授受が完了すると、出品者は、顧客側クライアント162aから情報を入力し、ポイント集計サーバ161aに送信する。

【0166】ポイント集計サーバ161aは、「特許太

郎」が入力した情報の認証処理を行い、さらに、移転されるポイントが正規のポイントか否かの認証を識別コード付与サーバ160に要求する。

【0167】識別コード付与サーバ160は、ポイント集計サーバ161aから移転されるポイントのカード番号と、ポイントの識別コードを受信する。識別コード付与サーバ160は、受信した「A-CARD」（「カード番号」「012345678902345」）に対応した、HDD160dに保存するポイントの識別コードと、ポイント集計サーバ161aから送られてきた識別コードとを照合する。図40に示すように、識別コード付与サーバ160は、識別コード「AZW0123456789012345」「BAD012345679876436」「CTU012345678901247」のポイントの記録を持つので、正規のポイントと認識し、ポイントを「特許次郎」のカード番号「012345678909876」に移転し記録する。図41は、移転後の識別コード付与サーバに登録される顧客情報と識別コードの一例である。図40と比較して、「特許太郎」の識別コード「AZW0123456789012345」「BAD012345679876436」「CTU012345678901247」のポイントが「特許次郎」に移転されている。

【0168】識別コード付与サーバ160は、ポイント集計サーバ161aに照合結果が一致した旨を送信する。ポイント集計サーバ161aは、移転されるポイントが正規のポイントであることを認識し、ポイント集計サーバ161bにユーザ登録している「特許次郎」へポイントの移転処理を行う。

【0169】もし、照合結果が一致していないときは、識別コード付与サーバ160は、その旨をポイント集計サーバ161aに通知し、ポイント集計サーバ161aは、ポイントの移転処理を行わない。

【0170】次に、以上の第2の実施の形態において実行される処理の一例について図42～49を参照して説明する。図42は、ポイント集計サーバに会員登録をする場合に実行されるフローチャートの一例である。このフローチャートが実行されると、以下の処理が実行される。

【0171】[S160] ポイント集計サーバ161aのCPU161aaは、アクセスしてきた顧客側クライアントに対して、HDD161adに格納されている所定のHTML文書を送信する。その結果、顧客側クライアントのブラウザには、図3に示すような登録画面40が表示される。

【0172】[S161] CPU161aaは、図3に示すような登録画面40において入力された項目を取得する。

[S162] CPU161aaは、カード会社が有するカード会社側サーバ163a～163cに対して問い合

わせを行い、登録を申請した顧客が決済カードを有しているか否かを判定する。

【0173】[S163] CPU161aaは、図4に示すような画面50を顧客側クライアントに送信し、サービス対象カード名を表示させる。

【S164】CPU161aaは、図4に示すような画面50において、指定されたカード名を取得する。

【0174】[S165] CPU161aaは、図5に示すような画面60を顧客側クライアントに表示させ、指定されたカードのカード番号を取得する。

【S166】CPU161aaは、識別コード付与サーバ160にポイントの識別コードの付与を要求する。

【0175】[S167] CPU161aaは、識別コード付与サーバ160が付与したポイント識別コードを取得する。

【S168】CPU161aaは、図6に示すような登録完了の画面70を顧客側クライアントに表示させる。

【0176】[S169] CPU161aaは、図6に示すような画面70において入力されたパスワードを取得する。

【S170】CPU161aaは、図7に示すような顧客情報とともにポイントの識別コードをHDD161adに登録する。

【0177】次に、図43を参照して、カード会社側サーバから、ポイントが発生した旨がポイント集計サーバに通知された場合に実行されるフローチャートの一例について説明する。このフローチャートが開始されると、以下の処理が実行される。

【0178】[S180] ポイント集計サーバ161aのCPU161aaは、カード会社側サーバ163a～163cからポイントが発生した旨が通知されたか否かを判定し、ポイントが発生した場合にはステップS181に進み、それ以外の場合には処理を終了する。

【0179】[S181] CPU161aaは、ポイントの発生に関連するカード会社と顧客を特定する。

【S182】CPU161aaは、識別コード付与サーバ160に、ポイントの識別コードの付与を要求する。

【0180】[S183] CPU161aaは、識別コードを付与されたポイントの識別コード付与サーバ160から取得する。

【S184】CPU161aaは、HDD161adに格納されている該当する顧客情報の該当する決済カードの累積ポイントに対して発生したポイントを加算して更新する。

【0181】[S185] CPU161aaは、顧客情報の合計ポイントに対して発生したポイントを加算して更新する。

【S186】CPU161aaは、発生したポイントに対する代金および手数料を、カード会社から徴収する決済処理を実行する。具体的には、該当する代金および手

数料をカード会社の有する銀行口座から引き落とす。

【0182】[S187] CPU161aaは、図11に示すような、電子メールを顧客に対して送信し、決済カードの利用明細と、ポイントの発生状況とを顧客に通知する。

【0183】次に、図44を参照して、ポイント集計サーバから識別コード付与サーバに識別コード付与の要求があった場合に実行されるフローチャートの一例について説明する。このフローチャートが開始されると、以下の処理が実行される。

【0184】[S190] 識別コード付与サーバ160のCPU160aは、ポイント集計サーバ161aから送られてくる顧客情報とポイントとを受信し、ポイントごとに一意の識別コードを付与する。

【0185】[S191] CPU160aは、顧客情報と、識別コードを付与されたポイントをHDD160dに保存する。

【S192】CPU160aは、識別コードを付与されたポイントをポイント集計サーバ161aに送信する。

【0186】次に、図45を参照して、ホームページ上において、ポイントと商品とを交換する際に実行される処理の一例について説明する。このフローチャートが開始されると、以下の処理が実行される。

【0187】[S200] ポイント集計サーバ161aのCPU161aaは、アクセスしてきた顧客の認証処理を実行する。

【S201】CPU161aaは、正規のユーザか否かを判定し、正規のユーザである場合にはステップS202に進み、それ以外の場合には処理を終了する。

【0188】[S202] CPU161aaは、顧客に対応する顧客情報をHDD161adから検索する。

【S203】CPU161aaは、顧客情報からポイント情報を取得する。

【0189】[S204] CPU161aaは、交換可能な商品に関するデータをHDD161adから取得する。

【S205】CPU161aaは、ステップS204で取得したデータを、要求を行った顧客側クライアントに送信し、交換可能な商品を図13に示すように一覧表示させる。

【0190】[S206] CPU161aaは、商品が選択されたか否かを判定し、選択された場合にはステップS207に進み、それ以外の場合には同一の処理を繰り返す。

【0191】[S207] CPU161aaは、識別コード付与サーバ160にポイントが正規のものであるか否かの認証要求を行う。

【S208】CPU161aaは、商品交換されるポイントの認証結果を識別コード付与サーバ160から受信し、ポイントが正規のものである場合、ステップS20



9に進み、正規のものでない場合、処理を終了する。

【0192】[S209] CPU161aaは、指定された商品に対応するポイントを顧客情報から減算する。なお、十分なポイントが存在しない場合には、エラー画面を表示するか、図24に示す画面140を表示させる。

【0193】[S210] CPU161aaは、ポイントが減算されたカードに対応するカード会社に対してポイントが減算された旨を通知する。

[S211] CPU161aaは、商品の発送部門に対して、商品の発送依頼を行う。

【0194】次に、図46を参照して、識別コード付与サーバの商品交換可能なポイントであるか否かの認証を行う処理の一例について説明する。このフローチャートが開始されると、以下の処理が実行される。

【0195】[S220] 識別コード付与サーバ160のCPU160aは、ポイント集計サーバ161aからカード番号と識別コードとを受信し、HDD160dに保存されている、受信したカード番号に対するポイントの識別コードと、受信した識別コードとを比較する。比較の結果、受信した識別コードと一致する識別コードがHDD160dに保存されていれば、ステップS221に進み、保存されていなければステップS223に進む。

【0196】[S221] CPU160aは、ポイントによる商品交換が行われることによって無効なポイントになることを示す使用済みフラグをHDD160dにセット(ON)する。

【0197】[S222] CPU160aは、受信した識別コードと、HDD160dに保存されている識別コードが一致している旨の情報を生成する。

[S223] CPU160aは、受信した識別コードと、HDD160dに保存されている識別コードが不一致である旨の情報を生成する。

【0198】[S224] CPU160aは、ステップ222、または、ステップ223で生成された情報をポイント集計サーバ161aに送信する。次に、図47を参照して、オークションの際に実行される処理の一例について説明する。このフローチャートが開始されると、以下の処理が実行される。

【0199】[S230] ポイント集計サーバ161aのCPU161aaは、図16に示すようなオークションの画面90を、要求を行った顧客側クライアントに送信して表示させる。

【0200】[S231] CPU161aaは、ホットテキスト「出品する」90aが操作されたか否かを判定し、操作された場合にはステップS232に進み、それ以外の場合にはステップS237に進む。

【0201】[S232] CPU161aaは、図17に示すようなオークション出品の画面100を要求を行

った顧客側クライアントに送信して表示させる。

[S233] CPU161aaは、図17に示す画面100において入力された項目を取得する。

【0202】[S234] CPU161aaは、出品されるポイントが正規のポイントであるか否かの認証を識別コード付与サーバ160に要求する。

[S235] CPU161aaは、出品されるポイントの認証結果を識別コード付与サーバ160から受信し、ポイントが正規のものである場合、ステップS236に進み、正規のものでない場合、出品できない旨を顧客側クライアントに送信し、ステップS237に進む。

【0203】[S236] CPU161aaは、取得した情報に基づいてオークションに出品する処理を実行する。

[S237] CPU161aaは、入札ボタンが操作されたか否かを判定し、操作された場合にはステップS238に進み、それ以外の場合には処理を終了する。

【0204】[S238] CPU161aaは、図19に示すようなオークション入札の画面110を、要求を行った顧客側クライアントに送信して表示させる。

[S239] CPU161aaは、図19に示す画面110において入力された項目を取得する。

【0205】[S240] CPU161aaは、取得した情報に基づいてオークションに入札する処理を実行する。次に、図48を参照して、オークションに出品されるポイントが正規のポイントであるか否かの認証を行う場合に実行される処理の一例について説明する。このフローチャートが開始されると、以下の処理が実行される。

【0206】[S250] 識別コード付与サーバ160のCPU160aは、ポイント集計サーバ161aからカード番号と識別コードとを受信し、HDD160dに保存されている、受信したカード番号に対するポイントの識別コードと、受信した識別コードとを比較する。比較の結果、受信した識別コードと一致する識別コードがHDD160dに保存されていれば、ステップS251に進み、保存されていなければステップS252に進む。

【0207】[S251] CPU160aは、受信した識別コードとHDD160dに保存されている識別コードが一致している旨の情報を生成する。

[S252] CPU160aは、受信した識別コードとHDD160dに保存されている識別コードが不一致である旨の情報を生成する。

【0208】[S253] CPU160aは、ステップS251、または、ステップS252で生成された情報をポイント集計サーバ161aに送信する。次に、図49を参照して、オークションに出品されたポイントが落札される場合に実行される処理の一例について説明する。このフローチャートが開始されると、以下の処理が



実行される。

【0209】[S260] ポイント集計サーバ161aのCPU161aaは、オークションに出品されているポイントが落札されたか否かを判定し、落札された場合にはステップS261に進み、それ以外の場合には処理を終了する。

【0210】[S261] CPU161aaは、図21に示すような電子メールを、出品者に対して送信する。

[S262] CPU161aaは、図21に示すURLをクリックすることにより、出品者からアクセスがあったか否かを判定し、アクセスがあった場合にはステップS263に進み、それ以外の場合には同一の処理を繰り返す。

【0211】[S263] CPU161aaは、アクセスしてきた顧客の認証処理を実行する。

[S264] CPU161aaは、アクセスしてきた顧客が正規のユーザであるか否かを判定し、正規のユーザである場合にはステップS265に進み、それ以外の場合には処理を終了する。

【0212】[S265] CPU161aaは、図22に示すようなポイント移転の画面120を、出品者の顧客側クライアントに送信して表示させる。

[S266] CPU161aaは、図22に示すポイント移転の画面120において入力された項目を取得する。

【0213】[S267] CPU161aaは、落札されたポイントが正規のポイントであるか否かの認証を識別コード付与サーバ160に要求する。

[S268] CPU161aaは、落札されたポイントの認証結果を識別コード付与サーバ160から受信し、ポイントが正規のものである場合、ステップS269に進み、正規のものでない場合、処理を終了する。

【0214】[S269] CPU161aaは、入力された項目に基づいて、指定されたポイントを、移転元から移転先に移転させる。次に、図50を参照して、オークションで落札されるポイントが正規のポイントであるか否かの認証を行う場合に実行される処理の一例について説明する。このフローチャートが開始されると、以下の処理が実行される。

【0215】[S280] 識別コード付与サーバ160のCPU160aは、ポイント集計サーバ161aからカード番号と識別コードとを受信し、HDD160dに保存されている、受信したカード番号に対するポイントの識別コードと、受信した識別コードとを比較する。比較の結果、受信した識別コードと一致する識別コードがHDD160dに保存されていれば、ステップS281に進み、保存されていなければステップS283に進む。

【0216】[S281] CPU160aは、移転されるポイントを移転先の顧客情報とともにHDD160d

に保存する。

[S282] CPU160aは、受信した識別コードとHDD160dに保存されている識別コードが一致している旨の情報を生成する。

【0217】[S283] CPU160aは、受信した識別コードとHDD160dに保存されている識別コードが不一致である旨の情報を生成する。

[S284] CPU160aは、ステップS282、または、ステップS283で生成された情報をポイント集計サーバ161aに送信する。

【0218】このように、ユーザ登録、または、商品交換などにより、ポイントが発生したとき、識別コード付与サーバ160によって識別コードを付与することにより、不正行為を行う第3者が扱う、識別コードを付与されていないポイントを差別化し、不正ポイントの流通を防止することができる。

【0219】また、ポイントによる商品交換、または、ポイントのオークションの出品の際に、識別コード付与サーバ160によって、ポイントの識別コードを認証することにより、不正なポイントによる商品交換、または、オークションへの出品を排除し、ポイントの商品交換を安全に行うことができる。

【0220】さらに、ポイントの移転の際に、識別コード付与サーバ160によって、ポイントの識別コードを認証することにより、不正行為者がネットワーク164にコンピュータを接続して、偽のポイント集計サーバに成りすまし、自分の加入するポイント集計サーバにポイントを移転する行為を排除することができる。

【0221】なお、以上の第1、第2の実施の形態では、決済カードとしてクレジットカードを例に挙げて説明したが、本発明はこのような場合に限定されるものではなく、例えば、デビットカードや電子マネー等にも適用可能であることはいうまでもない。

【0222】また、決済カードのみならず、小売店等が採用しているいわゆるポイントカードに対しても本発明を適用可能であることはいうまでもない。最後に、上記の処理機能は、コンピュータによって実現することができる。その場合、ポイント集計サーバ30、161a、161bが有すべき機能の処理内容は、コンピュータで読み取り可能な記録媒体に記録されたプログラムに記述されており、このプログラムをコンピュータで実行することにより、上記処理がコンピュータで実現される。コンピュータで読み取り可能な記録媒体としては、磁気記録装置や半導体メモリ等がある。市場へ流通させる場合には、CD-ROM(Compact Disk Read Only Memory)やフレキシブルディスク等の可搬型記録媒体にプログラムを格納して流通させたり、ネットワークを介して接続されたコンピュータの記憶装置に格納しておき、ネットワークを通じて他のコンピュータに転送することもできる。コンピュータで実行する際には、コンピュータ内の

ハードディスク装置等にプログラムを格納しておき、メインメモリにロードして実行する。

【0223】(付記1) 商品またはサービスの売買によって発生するポイントに対する処理を行う情報処理方法において、商品またはサービスの売買によって発生するポイントと、複数のポイントサービス提供者から取得するポイント取得ステップと、前記ポイント取得ステップによって取得したポイントを顧客毎に分別する分別ステップと、前記分別ステップによって分別されたポイントを顧客毎に累積する累積ステップと、を有することを特徴とする情報処理方法。

【0224】(付記2) 前記ポイントサービス提供者は決済カード会社であり、前記ポイントは商品の購入時における決済カードの使用金額に応じて発生する、ことを特徴とする付記1記載の情報処理方法。

【0225】(付記3) 前記ポイントサービス提供者は小売店であり、前記ポイントは商品の購入時における支払い金額に応じて発生する、ことを特徴とする付記1記載の情報処理方法。

【0226】(付記4) 前記ポイント取得ステップによって取得されたポイントの価値が、ポイントサービス提供者毎に異なる場合には、価値の統一を図る価値統一ステップを更に有することを特徴とする付記1記載の情報処理方法。

【0227】(付記5) 前記ポイントと交換可能な商品の一覧を顧客側のクライアントに表示させるポイント交換商品表示ステップと、前記クライアントにおいて、所定のポイント交換商品が指定された場合には、その商品とポイントとを交換する処理を行う交換処理ステップと、を更に有することを特徴とする付記1記載の情報処理方法。

【0228】(付記6) 前記交換処理ステップによって交換されるポイントと、前記顧客の指示に基づいたポイントサービス提供者のポイントとすることを特徴とする付記5記載の情報処理方法。

【0229】(付記7) 小売店において、前記ポイントを所有する顧客からポイントによる商品購入要求がなされた場合には、ポイントによる商品購入処理を行う商品購入ステップを更に有することを特徴とする付記1記載の情報処理方法。

【0230】(付記8) 顧客からポイントの移転要求がなされた場合には、2以上の顧客間でポイントを移転するポイント移転ステップを更に有することを特徴とする付記1記載の情報処理方法。

【0231】(付記9) 前記ポイント移転ステップによってポイントの移転を行う前に、最適な取引相手を選択する目的で競売を行う競売ステップを更に有することを特徴とする付記1記載の情報処理方法。

【0232】(付記10) 新たなポイントが発生した場合には、その旨を電子メールにより顧客に通知するポ

イント発生通知ステップを更に有する付記1記載の情報処理方法。

【0233】(付記11) 顧客からポイントに関する情報の表示要求がなされた場合には、その顧客のクライアントに対してポイントに関する情報を送信するポイント情報送信ステップを更に有することを特徴とする付記1記載の情報処理方法。

【0234】(付記12) 各顧客に関する情報を格納する顧客情報格納ステップと、特定の顧客を特定するための条件を設定する条件設定ステップと、前記顧客情報から前記条件に該当する所定の顧客を特定する顧客特定ステップと、を更に有することを特徴とする付記1記載の情報処理方法。

【0235】(付記13) 前記顧客特定ステップによって特定された顧客に対して所定の内容の情報を含む電子メールを送信する電子メール送信ステップを更に有することを特徴とする付記12記載の情報処理方法。

【0236】(付記14) 商品またはサービスの売買によって発生するポイントに対する処理を行う情報処理装置において、商品またはサービスの売買によって発生するポイントと、複数のポイントサービス提供者から取得するポイント取得手段と、前記ポイント取得手段によって取得したポイントを顧客毎に分別する分別手段と、前記分別手段によって分別されたポイントを顧客毎に累積する累積手段と、を有することを特徴とする情報処理装置。

【0237】(付記15) 商品またはサービスの売買によって発生するポイントに対する処理を行うサーバとの間で情報を授受するクライアントの情報処理方法において、前記サーバにアクセスし、顧客を認証するための認証情報を送信する認証情報送信ステップと、商品またはサービスの売買によって発生したポイントに関する情報を取得するポイント情報取得ステップと、前記ポイント情報を表示装置に出力する出力ステップと、を有することを特徴とする情報処理方法。

【0238】(付記16) 商品またはサービスの売買によって発生するポイントに対する処理を行うサーバとの間で情報を授受するクライアントの情報処理装置において、前記サーバにアクセスし、顧客を認証するための認証情報を送信する認証情報送信手段と、商品またはサービスの売買によって発生したポイントに関する情報を取得するポイント情報取得手段と、前記ポイント情報を表示装置に出力する出力手段と、を有することを特徴とする情報処理装置。

【0239】(付記17) 商品またはサービスの売買によって発生するポイントを管理するポイント管理方法において、商品またはサービスの売買によって発生するポイントと顧客情報とをポイント集計サーバから取得するポイント取得ステップと、前記ポイント取得ステップによって取得したポイントに、各ポイントを一意的に識

別するための識別コードを付与する識別コード付与ステップと、前記識別コード付与ステップによって識別コードを付与されたポイントを前記顧客情報とともに記憶する記憶ステップと、前記識別コード付与ステップによって識別コードを付与されたポイントを前記ポイント集計サーバに送信するポイント送信ステップと、を有することを特徴とするポイント管理方法。

【0240】(付記18) 前記ポイント集計サーバから、商品交換されるポイントの識別コードと前記顧客情報とを取得する識別コード取得ステップと、前記識別コード取得ステップによって取得された識別コードと、前記記憶ステップによって記憶された前記顧客情報に対する識別コードとを照合する識別コード照合ステップと、前記識別コード取得ステップによって取得された識別コードと、前記記憶ステップによって記憶された前記顧客情報に対する識別コードとが一致した場合、ポイントが使用されたことを示す情報を記憶するポイント使用記憶ステップと、照合結果を前記ポイント集計サーバに送信する送信ステップと、をさらに有することを特徴とする付記17記載のポイント管理方法。

【0241】(付記19) 前記ポイント集計サーバから、移転されるポイントの識別コードと前記顧客情報とを取得する識別コード取得ステップと、前記識別コード取得ステップによって取得された識別コードと、前記記憶ステップによって記憶された前記顧客情報に対する識別コードとを照合する識別コード照合ステップと、前記照合結果を前記ポイント集計サーバに送信する送信ステップと、をさらに有することを特徴とする付記17記載のポイント管理方法。

【0242】(付記20) 前記ポイント集計サーバから、移転されるポイントの識別コードと前記顧客情報と、移転先の顧客情報を取得する識別コード取得ステップと、前記識別コード取得ステップによって取得された識別コードと、前記記憶ステップによって記憶された前記顧客情報に対する識別コードとを照合する識別コード照合ステップと、前記識別コード取得ステップによって取得された識別コードと、前記記憶ステップによって記憶された前記顧客情報に対する識別コードとが一致した場合、前記識別コードを前記移転先の顧客情報とともに記憶するポイント移転記憶ステップと、をさらに有することを特徴とする付記17記載のポイント管理方法。

【0243】(付記21) 前記顧客情報は、顧客が使用するクレジットカードの番号であることを特徴とする付記17記載のポイント管理方法。

(付記22) 商品またはサービスの売買によって発生するポイントに対する処理を行うポイント管理装置において、商品またはサービスの売買によって発生するポイントと顧客情報とをポイント集計サーバから取得するポイント取得手段と、前記ポイント取得手段によって取得したポイントに、各ポイントを一意的に識別するための

識別コードを付与する識別コード付与手段と、前記識別コード付与手段によって識別コードを付与されたポイントを前記顧客情報とともに記憶する記憶手段と、前記識別コード付与手段によって識別コードを付与されたポイントを前記ポイント集計サーバに送信するポイント送信手段と、を有することを特徴とするポイント管理装置。

【0244】

【発明の効果】以上説明したように本発明では、商品またはサービスの売買によって発生するポイントに対する処理を行う情報処理方法において、商品またはサービスの売買によって発生するポイントを、複数のポイントサービス提供者から取得するポイント取得ステップと、ポイント取得ステップによって取得したポイントを顧客毎に分別する分別ステップと、分別ステップによって分別されたポイントを顧客毎に累積する累積ステップと、を設けるようにしたので、複数の決済カードを所有している場合であっても、それぞれの決済カードの使用によって発生したポイントをまとめて使用することが可能となる。

【0245】また、本発明では、商品またはサービスの売買によって発生するポイントに対する処理を行うサーバとの間で情報を授受するクライアントの情報処理方法において、サーバにアクセスし、顧客を認証するための認証情報を送信する認証情報送信ステップと、商品またはサービスの売買によって発生したポイントに関する情報を取得するポイント情報取得ステップと、ポイント情報を表示装置に出力する出力ステップと、を設けるようにしたので、複数の決済カードを所有している場合であっても、全ての決済カードに関するポイント情報を一括して表示させることが可能となる。

【0246】また、本発明では、商品またはサービスの売買によって発生するポイントを管理するポイント管理方法において、商品またはサービスの売買によって発生するポイントと顧客情報とをポイント集計サーバから取得するポイント取得ステップと、ポイント取得ステップによって取得したポイントに、各ポイントを一意的に識別するための識別コードを付与する識別コード付与ステップと、識別コード付与ステップによって識別コードを付与されたポイントを顧客情報とともに記憶する記憶ステップと、識別コード付与ステップによって識別コードを付与されたポイントをポイント集計サーバに送信するポイント送信ステップと、を設けるようにしたので、不正行為を行う第3者が扱う、識別コードを付与されていないポイントを差別化し、ポイントを安全に流通させることが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の動作原理を説明する原理図である。

【図2】本発明の第1の実施の形態の構成例を示す図である。

【図3】ポイント集計サーバに会員登録の際に表示さ

れる画面の一例である。

【図 4】集計の対象とする決済カードを選択する画面の表示例である。

【図 5】図 4 に示す画面において選択された決済カードのカード番号を入力する画面である。

【図 6】ポイントを表示するとともに、パスワードを入力する画面の表示例である。

【図 7】図 2 に示すポイント集計サーバに登録されている顧客情報の一例である。

【図 8】図 2 に示すカード会社側サーバに登録されている顧客情報の一例である。 10

【図 9】決済カードで商品を購入した場合に図 8 に示す顧客情報の変化を示す図である。

【図 10】決済カードで商品を購入した場合に図 7 に示す顧客情報の変化を示す図である。

【図 11】決済カードで商品を購入した場合に顧客に対して送信される電子メールの一例である。

【図 12】顧客がポイント集計サーバにアクセスし、ポイントの蓄積状況を問い合わせた場合に表示される画面の一例である。 20

【図 13】顧客がポイント集計サーバにアクセスし、ポイントと商品との交換を要求した場合に表示される商品の一覧画面である。

【図 14】図 13 に示す画面において、所定の商品とポイントとを交換した場合における顧客情報の一例である。

【図 15】目的の決済カードから所望のポイントを減算するための表示画面の一例である。

【図 16】オークションの表示例を示す図である。

【図 17】オークションに出品する場合に表示される画面の一例である。 30

【図 18】図 17 に示す画面において入力された内容が反映された後のオークションの表示例である。

【図 19】オークションに入札する場合に表示される画面の一例である。

【図 20】図 19 に示す画面において入力された内容が反映された後のオークションの表示例である。

【図 21】オークションが終了した場合に、出品者に対して送信される電子メールの一例である。

【図 22】ポイントに移転する際に表示される画面の表示例である。 40

【図 23】逆オークションの表示例を示す図である。

【図 24】商品と交換する際にポイントが不足している場合に表示される画面の一例である。

【図 25】小売店において商品を購入する際に表示される画面の一例である。

【図 26】ポイント集計サーバに格納されている顧客に対してダイレクトメールを送信する際に、条件を入力する画面の表示例である。

【図 27】ダイレクトメールの一例である。

【図 28】ポイント集計サーバにユーザ登録を行う場合に実行されるフローチャートの一例である。

【図 29】決済カードにより商品を購入した場合においてポイント集計サーバで実行されるフローチャートの一例である。

【図 30】顧客が蓄積されているポイントをポイント集計サーバに問い合わせた場合に実行されるフローチャートの一例である。

【図 31】ポイントと商品を交換する際に実行されるフローチャートの一例である。

【図 32】オークションに関連するフローチャートの一例である。

【図 33】オークションにおいてポイントが落札された際に実行されるフローチャートの一例である。

【図 34】顧客に対してダイレクトメールを送信する際に実行されるフローチャートの一例である。

【図 35】本発明の第 2 の実施の形態の構成例を示す図である。

【図 36】識別コード付与サーバに登録される顧客情報と識別コードの一例である。

【図 37】ポイント集計サーバに登録される顧客情報、ポイントに付与された識別コードの一例である。

【図 38】ポイントが新たに発生した後の識別コード付与サーバに登録される顧客情報と識別コードの一例である。

【図 39】ポイントが新たに発生した後のポイント集計サーバに登録される顧客情報、ポイントに付与された識別コードの一例である。

【図 40】商品交換の際における識別コード付与サーバに登録される顧客情報と識別コードの一例である。

【図 41】移転後の識別コード付与サーバに登録される顧客情報と識別コードの一例である。

【図 42】ポイント集計サーバに会員登録をする場合に実行されるフローチャートの一例である。

【図 43】カード会社側サーバから、ポイントが発生した旨がポイント集計サーバに通知された場合に実行されるフローチャートの一例である。

【図 44】ポイント集計サーバから識別コード付与サーバに識別コード付与の要求があった場合に実行されるフローチャートの一例である

【図 45】ホームページ上において、ポイントと商品とを交換する際に実行されるフローチャートの一例である。

【図 46】識別コード付与サーバの商品交換可能なポイントであるか否かの認証を行う際に実行されるフローチャートの一例である。

【図 47】オークションの際に実行されるフローチャートの一例である。

【図 48】オークションに出品されるポイントが正規のポイントであるか否かの認証を行う場合に実行されるフ 50

ローチャートの一例である。

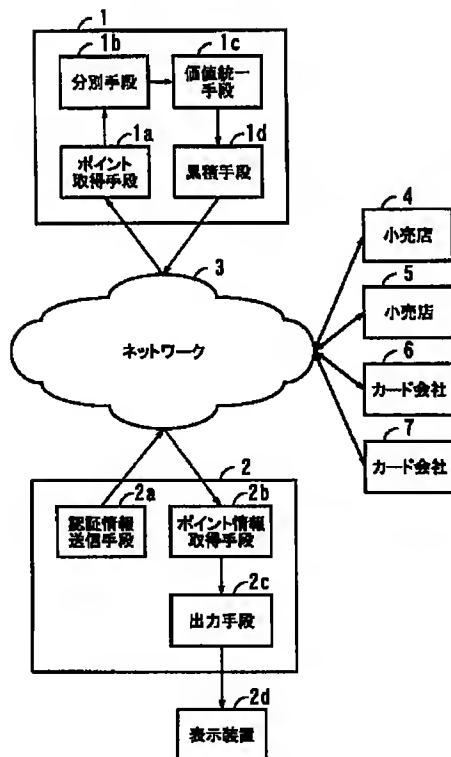
【図49】オークションに出品されたポイントが落札される場合に実行されるフローチャートの一例である。

【図50】オークションで落札されるポイントが正規のポイントであるか否かの認証を行う場合に実行される処理の一例である。

【符号の説明】

- 1 ポイント集計サーバ
- 1a ポイント取得手段
- 1b 分別手段
- 1c 価値統一手段
- 1d 累積手段
- 2 顧客側クライアント
- 2a 認証情報送信手段
- 2b ポイント情報取得手段
- 2c 出力手段
- 2d 表示装置

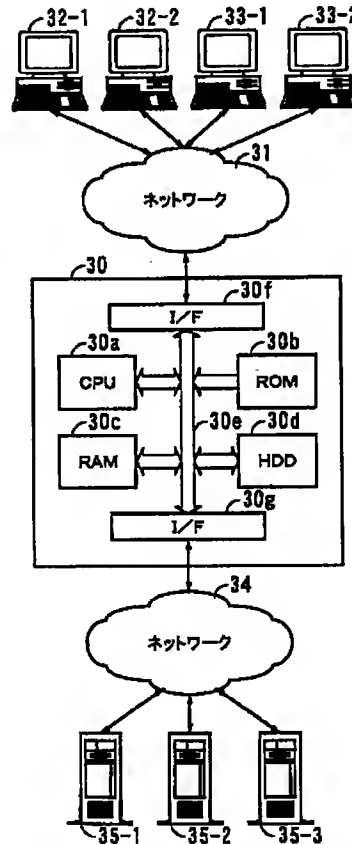
【図1】



\* 3 ネットワーク

- 4, 5 小売店
- 6, 7 カード会社
- 30, 161a, 161b ポイント集計サーバ
- 30a, 160a, 161aa, 161ba CPU
- 30b, 160b, 161ab, 161bb ROM
- 30c, 160c, 161ac, 161bc RAM
- 30d, 160d, 161ad, 161bd HDD
- 30e, 160e, 161ae, 161be バス
- 10 30f, 30g, 160f, 161af, 161bf I/F
- 31, 34, 164 ネットワーク
- 32-1, 32-2, 162aa, 162ab 顧客側クライアント
- 33-1, 33-2, 162ba, 162bb 小売店側クライアント
- \* 160 識別コード付与サーバ

【図2】



【図7】

氏名	特許太郎	
性別	男性	
年齢	28	
ユーザID	U0000001	
パスワード	XYZ012345	
住所	東京都新宿区〇〇〇	
電話番号	03-0000-1111	
e-mail	tokkyo@aaa.com	
使用カード	カード名	累積ポイント
	A-CARD	32
	V-CARD	102
	F-CARD	509
合計ポイント	643	

【図10】

氏名	特許太郎	
性別	男性	
年齢	28	
ユーザID	U0000001	
パスワード	XYZ012345	
住所	東京都新宿区〇〇〇	
電話番号	03-0000-1111	
e-mail	tokkyo@aaa.com	
使用カード	カード名	累積ポイント
	A-CARD	48
	V-CARD	102
	F-CARD	509
合計ポイント	659	

【図 3】

登録

ポイント集計サービスをご利用いただくために、以下の項目にご記入下さい。

氏名: 特許太郎 40a

性別: 男性 40b

年齢: 28 40c

住所: 東京都新宿区〇〇〇 40d

電話番号: 03-0000-1111 40e

e-mail: tokkyo@asa.com 40f

OK 40g

【図 4】

登録

以下のカードのポイントがサービスの対象となっております。集計の対象をご選択下さい。

☒ A-CARD  
☒ V-CARD  
☐ M-CARD  
☒ F-CARD  
☐ Z-CARD

OK 50b

50a

【図 6】

【図 5】

登録

以下のカードのポイントがサービスの対象となります。カード番号と暗証番号をご入力下さい。

	カード番号	暗証番号
A-CARD	0123456789012345	19254
V-CARD	5432109876543210	45421
F-CARD	0123450123456789	57856

OK 60d

60a, 60e, 60b, 60f, 60c, 60g

登録

認証が完了しました。  
お客様が現在お持ちのポイントは以下の通りです。

A-CARD: 32ポイント  
 V-CARD: 102ポイント  
 F-CARD: 509ポイント  
 合計 643ポイント

お客様のユーザIDは、以下の通りです。  
ユーザID: U0000001

お客様のご希望のパスワードをご入力下さい。  
パスワード: XYZ012345

OK 70d

70a, 70b, 70c

【図 8】

氏名	特許太郎			
性別	男性			
年齢	28			
カード番号	0123456789012345			
カード期限	2001年3月			
住所	東京都新宿区〇〇〇			
電話番号	03-0000-1111			
e-mail	tokkyo@asa.com			
集計サービス	使用			
今月使用内訳	日時	使用店舗	金額	発生ポイント
	9月2日	A商店	1500円	3
	9月15日	Bホテル	5500円	11
	9月16日	C電気	6500円	13
合計ポイント				27
累積ポイント				32

【図 9】

氏名	特許太郎			
性別	男性			
年齢	28			
カード番号	0123456789012345			
カード期限	2001年3月			
住所	東京都新宿区〇〇〇			
電話番号	03-0000-1111			
e-mail	tokkyo@asa.com			
集計サービス	使用			
今月使用内訳	日時	使用店舗	金額	発生ポイント
	9月2日	A商店	1500円	3
	9月15日	Bホテル	5500円	11
	9月16日	C電気	6500円	13
	9月26日	D書籍	8000円	16
合計ポイント				43
累積ポイント				48

【図11】

**ポイント発生通知**

先日の以下の商品のご購入につき、ポイントが発生しましたので、ご連絡します。

お買いあげ日時: 9月26日  
 お買いあげ店舗名: D書籍  
 お買いあげ商品種別: 書籍  
 お買いあげ代金: 8000円  
 ご使用カード名: A-CARD  
 発生ポイント数: 16  
 ご使用カード累積ポイント数: 48  
 全カード合計ポイント: 659

【図12】

**ポイント照会**

お客様が現在お持ちのポイントは以下の通りです。

A-CARD: 48ポイント  
 V-CARD: 102ポイント  
 F-CARD: 509ポイント  
**合計 659ポイント**

OK

【図14】

氏名	特許太郎
性別	男性
年齢	28
ユーザID	U0000001
パスワード	XYZ012345
住所	東京都新宿区〇〇〇
電話番号	03-0000-1111
e-mail	tokkyo@saa.com
使用カード	カード名 累積ポイント
	A-CARD 16
	V-CARD 0
	F-CARD 163
合計ポイント	179

【図13】

**商品交換**

お客様の累積ポイントは、659ポイントです。  
 600ポイント以下の商品を表示します。  
 お好きな商品をご選択下さい。

**500～600ポイント**

カメラ: 570    プリンタ: 540    バッグ: 510

**400～500ポイント**

腕時計: 490    ヴァイオリン: 480    万年筆: 470

前ページ    次ページ    OK

【図15】

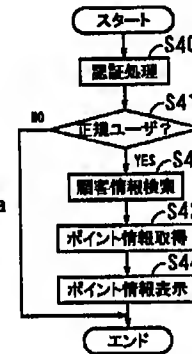
**ポイント減算選択画面**

今回減算ポイント合計 480

カード名	累積ポイント	減算ポイント	減算選択
A-CARD	32		32
V-CARD	102		102
F-CARD	509	480	348
合計ポイント	643	480	480

減算選択

【図30】



【図17】

**オークション出品**

以下の項目に該当事項を入力下さい。

ユーザID: U0000001    100a  
 パスワード: XYZ012345    100b  
 ハンドル名: TOKKYO    100c  
 ポイント数: 800    100d  
 開始価格: 2000円    100e  
 最低落札価格: 2500円    100f  
 終了日時: 10月10日    100g

OK

【図16】

**ポイントオークション**

出品する

No.	ポイント数	売却者	開始価格	現在価格	入札件数	残り時間
1	1500	Hiroshi	10000円	13000円	5	3時間
2	1000	Yamasa	5000円	12000円	3	1日
3	2100	Harry	8000円	19000円	11	3日

OK

【図18】

90

ポイントオークション

出品する

No.	ポイント数	売却者	開始価格	現在価格	入札件数	残り時間	入札
1	1500	Hiroshi	10000円	13000円	5	3時間	入札
2	1000	Yamase	5000円	12000円	3	1日	入札
3	2100	Harry	8000円	19000円	11	3日	入札
4	300	Tokkyo	2000円	2000円	0	5日	入札

OK

90c

【図19】

110

オークション入札

以下の項目に該当事項を入力下さい。

ユーザID: U0000001 110a

パスワード: XYZ012345 110b

ハンドル名: TOKKYO 110c

入札価格: 14000円 110d

OK

110e

【図20】

90

ポイントオークション

出品する

No.	ポイント数	売却者	開始価格	現在価格	入札件数	残り時間	入札
1	1500	Hiroshi	10000円	14000円	6	3時間	入札
2	1000	Yamase	5000円	12000円	3	1日	入札
3	2100	Harry	8000円	18000円	11	3日	入札

OK

90c

【図21】

オークション終了通知。

あなたが出品されたポイントが落札されました。  
できるだけ早く落札者と連絡を取り、代金の授受  
方法等を決定して下さい。

なお、代金の授受が完了した場合には、以下の  
URLからポイントの交換画面に進んで下さい。  
その際に、以下のパスワードが必要となります。

<http://www.point.com/U0000001>

パスワード: 121212

【図22】

120

ポイント移転

ポイント移転サービスをご利用いただくために、  
以下の項目にご記入下さい。

移転元情報

ユーザID: U0000001 120a

パスワード: XYZ012345 120b

移転ポイント数: 300 120c

移転先情報

ユーザID: U0000375 120d

ハンドル名: Sakai 120e

OK

120f

【図24】

140

登録

この商品と交換するためには、30ポイント  
不足しています。以下の何れかをご選択下さい。

(1) 交換しないで終了する。

(2) 来月分のポイントで相殺する。

(3) 不足分の代金をカードから引き落とす。

OK

140b



【図23】

130

ポイント逆オークション

出品する

No.	ポイント数	購入者	開始価格	現在価格	入札件数	残り時間
1	500	Terada	4800円	4000円	4	12時間
2	1200	Tsurumi	11000円	10000円	10	2日
3	3100	Egawa	30000円	25000円	7	3日

OK

130a

130b

130c

【図25】

145

商品購入

No.: 00950  
日時: 2000年9月24日 12:43  
商品: 玩具  
価格: 1200円  
税金: 60円  
合計: 1260円

支払い方法:  
○ 現金  
○ 決済カード  
● ポイント

OK

145a

【図26】

150

DM送信

DM送信対象となる顧客を選択する条件を入力してください。

地区: 関東地区 ▾ 150a

性別: 男性 ▾ 150b

年齢: 20~29 ▾ 150c

合計ポイント数: 20000~ ▾ 150d

OK

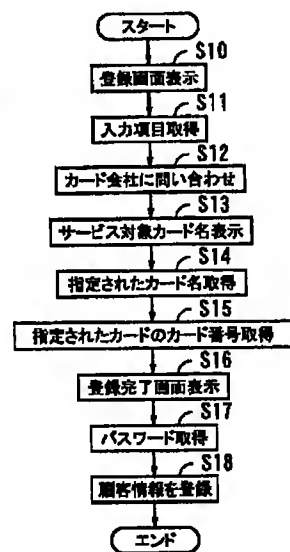
150e

【図27】

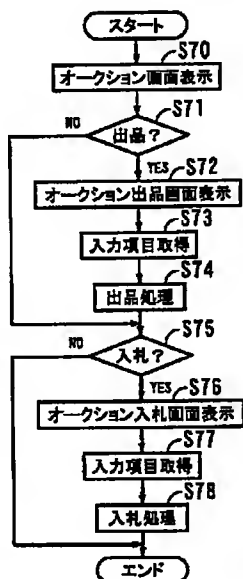
新作高級ブランドスーツ発売のお知らせ。

来る11月10日、O×デパート新宿店では、有名ブランドO×口の最新スーツの展示即売会を開催します。  
当日は、全世界で1000着限定のO×口も10着に限り販売する予定ですので、奮ってご参加下さい。

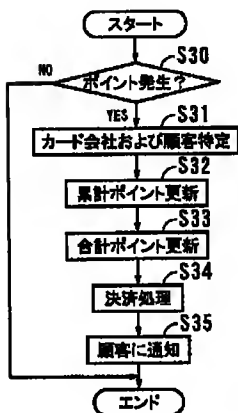
【図28】



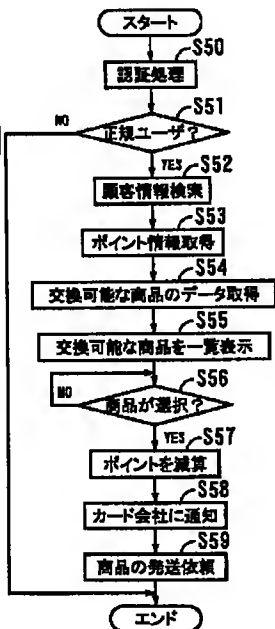
【図32】



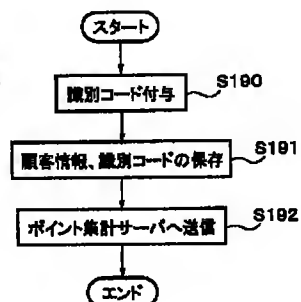
【図29】



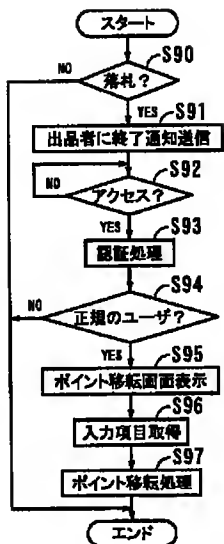
【図31】



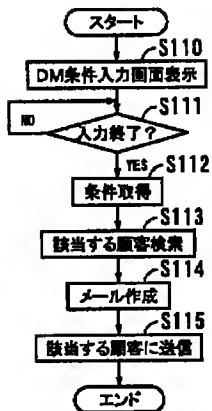
【図44】



【図33】



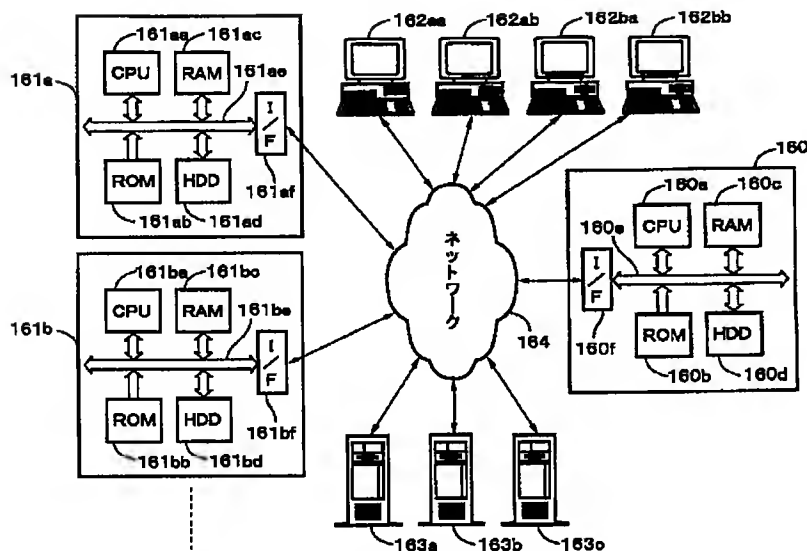
【図34】



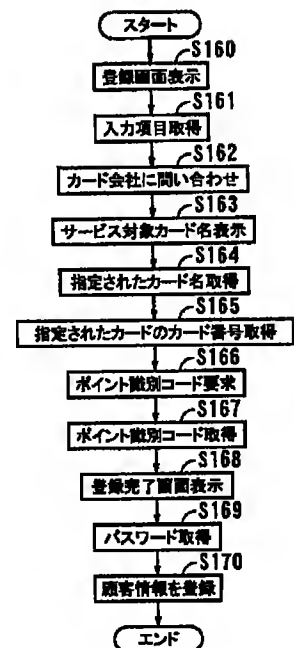
【図37】

氏名	特許太郎		
性別	男性		
年齢	28		
ユーザID	U0000001		
パスワード	XYZ012345		
住所	東京都新宿区〇〇〇		
電話番号	03-0000-1111		
e-mail	tokyo@saa.com		
使用カード	カード名	累積ポイント	識別コード
	A-CARD	2	AZW01...345 BAD01...436
	V-CARD	8	EFH98...345 XDF54...346 ...
			WDE32...102
合計ポイント	7		

【図35】



【図42】



【図36】

氏名	カード番号	使用日時	使用店舗	発生ポイント	金額	識別コード	使用済みフラグ
特許太郎	012345678902345	2001.9.2	A商店	2	1,000	AZW0123456789012345 BAD0123456789076436	OFF OFF
	012345678964321	2001.9.6	Bホテル	5	2,500	EFH987654321012345 XDF843678521012346 LKU987612321012345 HYU987654321012435 JFH987654321232345	OFF OFF OFF OFF OFF
特許次郎	012345678909876	2001.9.10	B商店	4	2,000	MFK012345678969123 BJFO123456785432212 NGL0123457665432212 VFG7665432212012345	OFF OFF OFF OFF
...	...	...	...	...	...	...	...

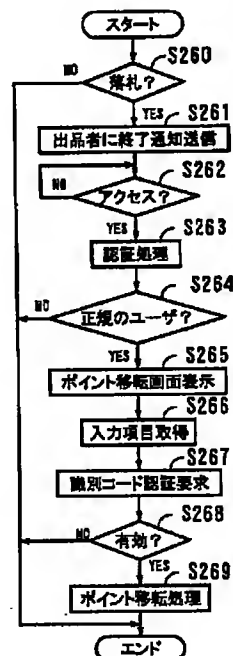
【図38】

氏名	カード番号	使用日時	使用店舗	発生ポイント	金額	識別コード	使用済みフラグ
特許太郎	012345678902345	2001.9.2	A商店	2	1,000	AZW0123456789012345 BAD0123456789076436	OFF OFF
	012345678964321	2001.9.6	Bホテル	5	2,500	EFH987654321012345 XDF843678521012346 LKU987612321012345 HYU987654321012435 JFH987654321232345	OFF OFF OFF OFF OFF
	012345678902345	2001.9.15	A商店	1	500	GTU012345678901247	OFF
特許次郎	012345678909876	2001.9.10	B商店	4	2,000	MFK012345678969123 BJFO123456785432212 NGL0123457665432212 VFG7665432212012345	OFF OFF OFF OFF
...	...	...	...	...	...	...	...

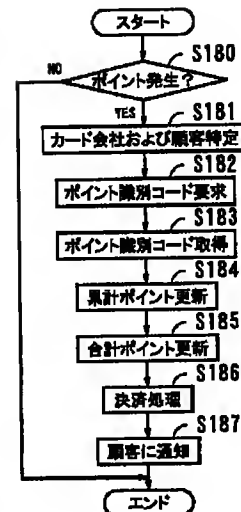
【図39】

氏名	特許太郎		
性別	男性		
年齢	28		
ユーザID	U0000001		
パスワード	XYZ012345		
住所	東京都新宿区〇〇〇		
電話番号	03-0000-1111		
e-mail	tokkyo@aaa.com		
使用カード	カード名	累積ポイント	識別コード
	A-CARD	3	AZW01...345 BAD01...436 GTU01...247
	V-CARD	5	EFH98...345 XDF64...345 LKU98...345 ...
			WDE32...102
合計ポイント	8		

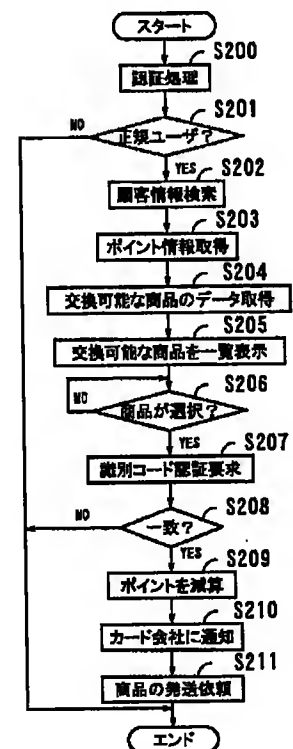
【図49】



【図43】



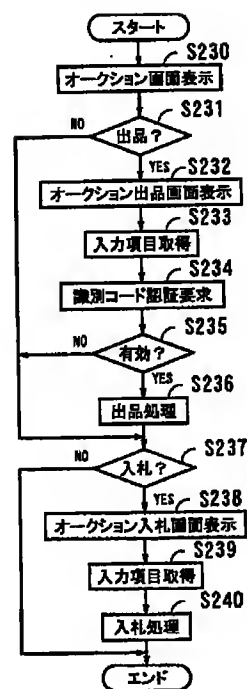
【図45】



【図 40】

氏名	カード番号	使用日時	使用店舗	発生ポイント	金額	識別コード	使用済みフラグ
特許太郎	012345678902345	2001. 9. 2	A商店	2	1,000	AZW0123456789012345 BAD012345678976436	OFF OFF
	012345678904321	2001. 9. 8	Bホテル	2	2,500	EFH987654321012345 XDF543876521012345 LKU987612321012345 HYU987654321012435 JFH987664321232345	ON ON ON OFF OFF
	012345678902348	2001. 9. 18	A商店	1	500	CTU012345678901247	OFF
特許次郎	012345678909876	2001. 9. 10	B商店	4	2,000	MFK012345678989123 BJF0123456786432212 NGL0123457665432212 VFG7665432212012345	OFF OFF OFF OFF
...	...	...	...	...	...	...	...

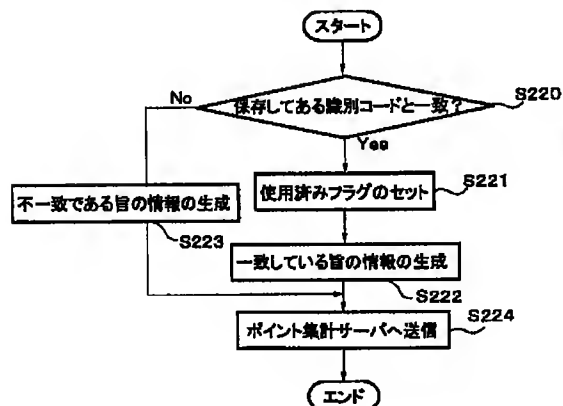
【図 47】



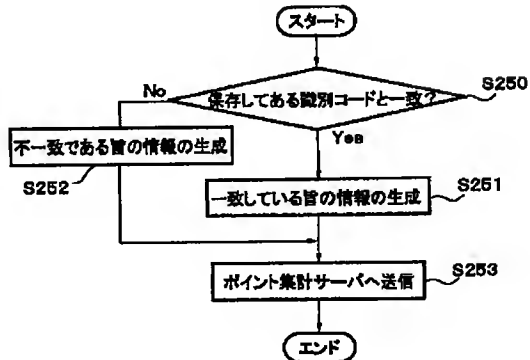
【図 41】

利用者	カード番号	使用日時	使用店舗	発生ポイント	金額	識別コード	使用済みフラグ
特許太郎	012345678904321	2001. 9. 6	Bホテル	2	2,500	EFH987654321012345 XDF543876521012345 LKU987612321012345 HYU987654321012435 JFH987664321232345	ON ON ON OFF OFF
特許次郎	012345678909876	2001. 9. 10	B商店	4	2,000	MFK012345678989123 BJF0123456786432212 NGL0123457665432212 VFG7665432212012345	OFF OFF OFF OFF
		2001. 9. 2	A商店	2	1,000	AZW0123456789012345 BAD012345678976436	OFF OFF
		2001. 9. 15	A商店	1	500	CTU012345678901247	OFF
		...	...	...	...	...	...

【図 46】



【図 48】



【図50】

